

神奈川県後期高齢者医療広域連合
第2期保健事業実施計画
(データヘルス計画)

平成30年度～平成35年度

平成30年6月
神奈川県後期高齢者医療広域連合

-目次-

第1章	計画策定について	
	1. 計画策定の背景	1
	2. 計画期間	1
	3. 基本方針	2
	4. データヘルス計画の位置づけ	3
	5. 実施体制・関係者連携	3
	6. データ分析	3
第2章	現状と課題把握	
	1. 保険者の特性把握	4
	(1) 神奈川県のご総人口と被保険者数の推移	4
	(2) 被保険者の状況	5
	(3) 被保険者数の推移	6
	(4) 死因に関する分析	6
	2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)	7
	(1) 健康診査事業	7
	(2) 歯科健康診査事業	8
	(3) 医療費通知事業	9
	(4) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	10
	(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業	11
	3. 医療情報分析結果	12
	(1) 基礎統計	12
	① 市区町村別被保険者数	12
	② 基礎統計	14
	③ 市区町村別医療費	15
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	19
	① 高額レセプトの件数及び割合	19
	② 市区町村別高額レセプトの件数及び割合	20
	③ 高額レセプト発生患者の疾病傾向	22
	(3) 疾病別医療費	24
	① 大分類による疾病別医療費統計	24
	② 市区町村別大分類による医療費上位5疾病	26
	③ 中分類による疾病別医療費統計	28
	④ 市区町村別中分類による医療費上位5疾病	30
	4. 保健事業実施に係る分析結果	37
	(1) レセプトデータによる指導対象者群分析	37
	(2) 生活習慣病治療中断者に係る分析	38
	(3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	40
	(4) 受診行動適正化に係る分析	44

-目次-

	(5)ジェネリック医薬品普及率に係る分析	47
	①ジェネリック医薬品普及率	47
	②市区町村別ジェネリック医薬品普及率	48
	(6)薬剤併用禁忌に係る分析	54
	5.分析結果に基づく健康課題の把握	56
	(1)分析結果	56
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	57
第3章 保健事業実施計画		
	1.各事業の目的と概要一覧	58
	2.各事業の実施内容と評価方法	60
	(1)健康診査事業	60
	(2)歯科健康診査事業	61
	(3)重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業	62
	(4)糖尿病性腎症重症化予防事業	63
	(5)ジェネリック医薬品利用差額通知事業	65
	(6)医療費通知事業	66
	3.保健事業の実施に当たっての留意事項	67
第4章 その他		
	1.データヘルス計画の運用	68
	(1)評価	68
	(2)評価時期	68
	2.計画の公表・周知	68
	3.個人情報の取り扱い	68
	4.地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	68
巻末資料		
	疾病分類表(2013年版)	巻末資料

第1章 計画策定について

1. 計画策定の背景

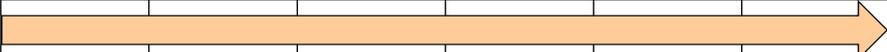
「高齢者の医療の確保に関する法律」第125条第1項において、「後期高齢者医療広域連合(以下「広域連合」といいます。)は高齢者の心身の特性に応じ、健康教育、健康相談、健康診査及び保健指導並びに健康管理及び疾病の予防に係る被保険者の自助努力についての支援その他の被保険者の健康の保持増進のために必要な事業を行うように努めなければならない」と定められています。

近年レセプト等の電子化の進展、国保データベースシステム等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでおり、国は「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」ことを掲げ、後期高齢者医療の保険者に対しても「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく保健事業の実施等に関する指針」において、同趣旨の取り組みを求めています。こうした背景を踏まえ、当広域連合は健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、平成27年度を始期とする第1期データヘルス計画(平成27年度から平成29年度まで)を策定し、各種保健事業を実施してまいりました。

このたび第1期データヘルス計画の期間が満了となったことから、計画の内容及びそれに基づく保健事業の実施結果並びに効果検証等、振り返りを行いました。そして、そこから得られた知見や課題を踏まえ、第2期データヘルス計画を策定いたしました。当広域連合は、この計画に基づき、被保険者の更なる健康の保持増進に取り組んでまいります。

2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、都道府県における医療費適正化計画や医療計画等が、平成30年度から35年度までを計画期間としており、これらとの整合性を図る観点から同様の計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

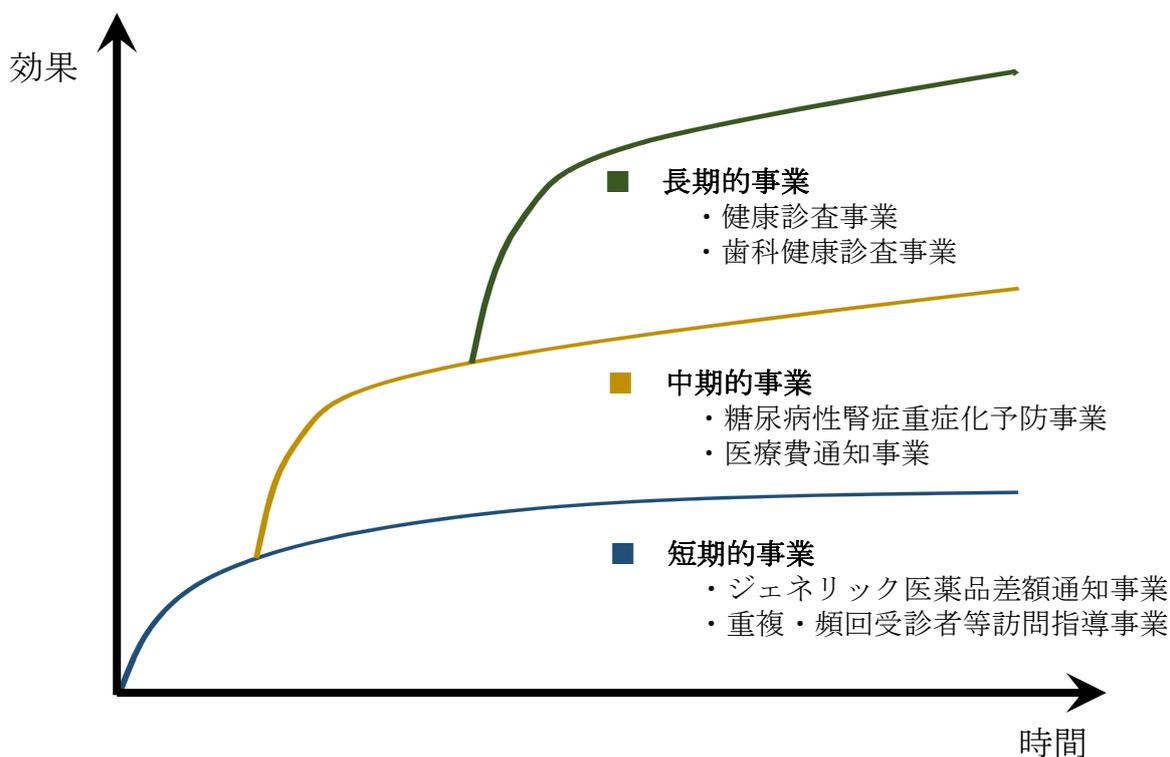
3. 基本方針

目標とする成果を達成するため、次の基本方針により本データヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確になった課題から、費用対効果の見込める事業について、PDCAサイクルを意識した継続的な取組みを行います。
3. 実施事業に対する明確な目標を設定し、この目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。また、目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これらの事業を神奈川県後期高齢者医療広域連合の実情に合わせて、効率良く実施していきます。



4. データヘルス計画の位置づけ

本計画は、「神奈川県後期高齢者医療広域連合第3次広域計画（平成28年度～平成33年度）」における保健事業に関する個別計画に位置づけます。

また、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21（第2次））（平成25年度～平成34年度）」に示された基本方針を踏まえるとともに、「かながわ健康プラン21（第2次）（平成25年度～平成34年度）」、「神奈川県保健医療計画（平成30年度～平成35年度）」、「神奈川県医療費適正化計画（平成30年度～平成35年度）」、及び神奈川県内の市町村で策定している保健事業増進計画等との整合性に配慮します。

5. 実施体制・関係者連携

本データヘルス計画の遂行に当たっては、広域連合と市町村が緊密に連携を図り、高齢者の特性を踏まえた保健事業を実施することが重要です。

また、大学などの外部有識者との連携・協力により、保健事業に関する助言や分析を受けるとともに、県医師会や県歯科医師会とも連携し、効果的な保健事業を推進していきます。

6. データ分析

本データヘルス計画作成における分析するデータについては、次のとおりです。

■分析するデータの期間

入院（DPC（国が設定した病名や診療内容に対し、入院1日当たりの定額を決め、包括的医療費支払いができる制度）を含む。）、入院外、調剤の電子レセプト

単年分析

平成28年10月～平成29年3月診療分（6カ月分）

※レセプトデータの分析は、主に次の分析技術を活用しています。

医療費分解技術（特許第4312757号）

レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為（医薬品、検査、手術、処置、指導料など）を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

未コード化疾病のコード化

レセプトに記載されている未コード化疾病を可能な限りコード化する。

※本計画は平成29年度から計画策定に着手していることから、分析するデータは平成28年度までのものをベースとしています。

第2章 現状と課題把握

1. 保険者の特性把握

(1) 神奈川県内の総人口と被保険者数の推移

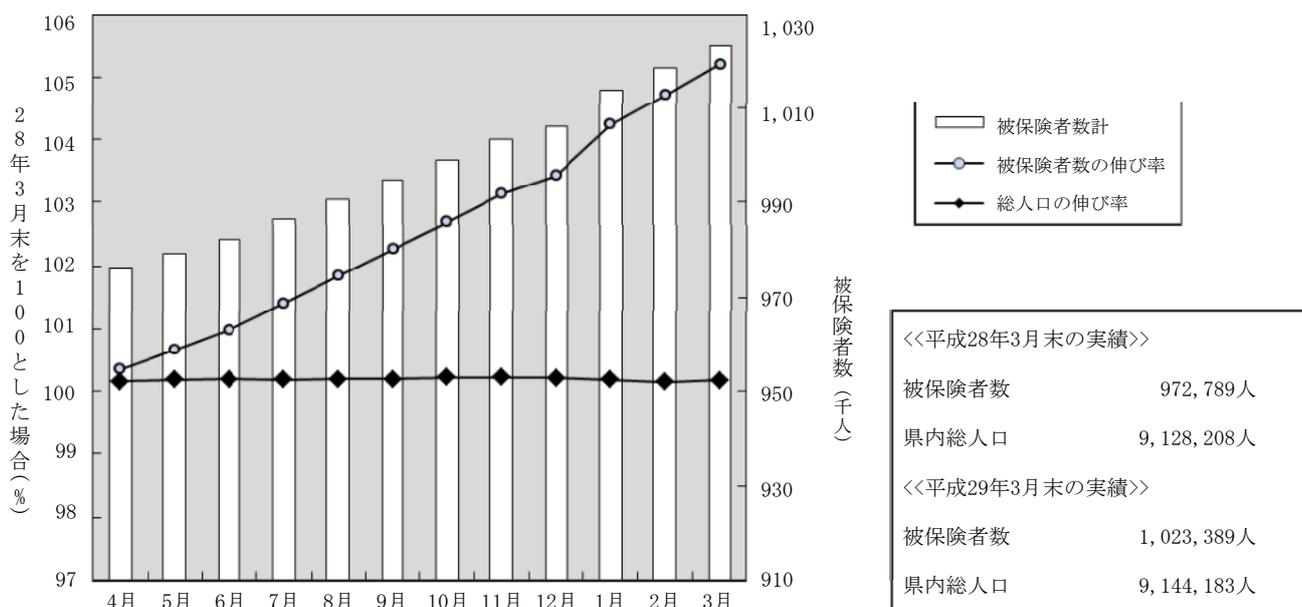
本広域連合の被保険者数は、東京都、大阪府に次いで、全国で3番目の多数となっています。神奈川県内の総人口が平成28年3月末から平成29年3月末までの間に、1万5,975人(0.18%)増加したのに対し、被保険者数は5万600人(5.20%)増加しており、神奈川県内の総人口に対する被保険者数の割合は平成28年3月末では10.7%、平成29年3月末は11.2%に増加しています。高齢化率、75歳以上の割合、高齢者世帯数(単独世帯)は軒並み伸びている状況です。

本広域連合の状況

本広域連合の被保険者数	1,023,389人 (平成29年3月末)	972,789人 (平成28年3月末)
神奈川県内の総人口	9,144,183人 (平成29年3月末)	9,128,208人 (平成28年3月末)
神奈川県内の高齢化率 ※65歳以上の者の割合	24.5% (平成29年1月1日現在)	22.5% (平成26年1月1日現在)
神奈川県内の75歳以上割合	11.2% (平成29年3月末)	10.7% (平成28年3月末)
高齢者世帯(単独世帯)率 ※65歳以上の者のみの世帯の割合	26.6%(13.1%) (平成28年国民生活基礎調査)	22.6%(10.1%) (平成25年 同調査)

出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 平成28年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書
神奈川県 平成29年神奈川県年齢別人口統計調査
厚生労働省 平成28年国民生活基礎調査 (注) 熊本県を除いたものである。

神奈川県内の人口と被保険者数の伸び率の推移

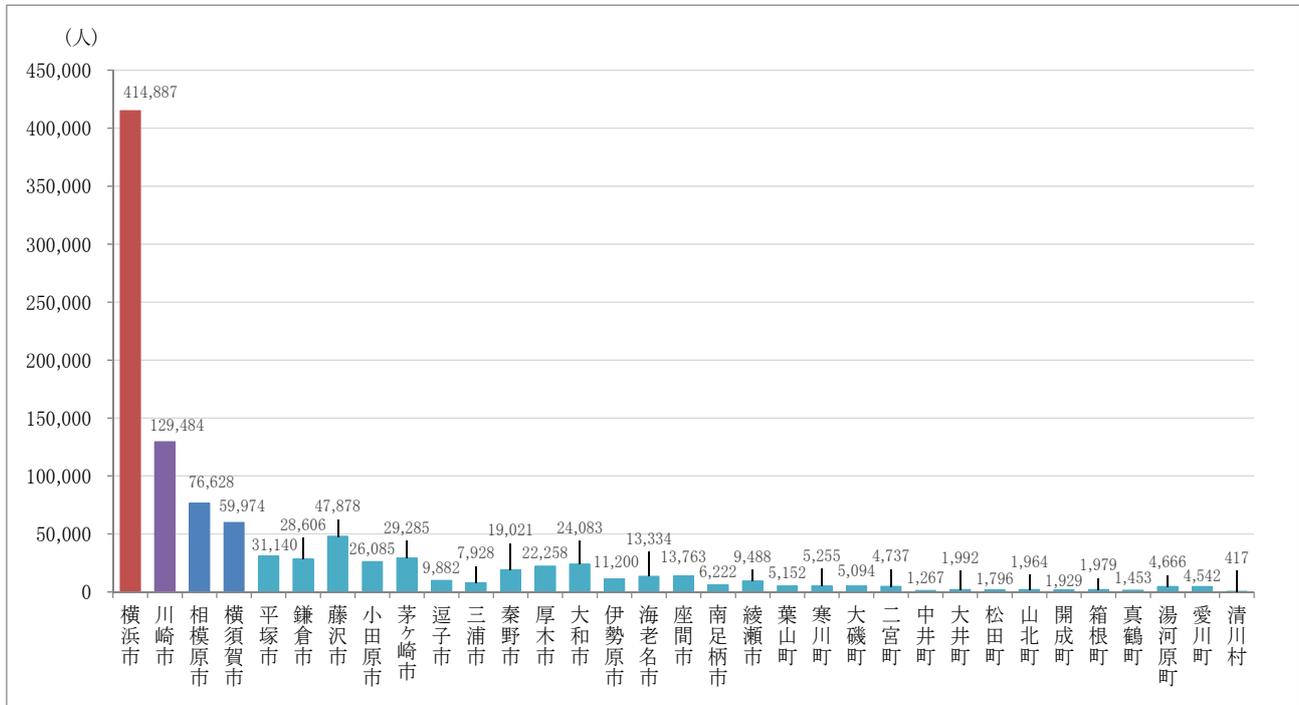


出典：神奈川県後期高齢者医療広域連合 平成28年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書

(2) 被保険者の状況

被保険者（神奈川県内の65歳以上）の人口構成を市町村別・所得階層別に示します。被保険者の4割が横浜市にすることがわかります。

市町村名別 被保険者数(平成28年度)



出典：神奈川県広域連合 2017年03月 月報

所得階層別 被保険者数(平成28年度)

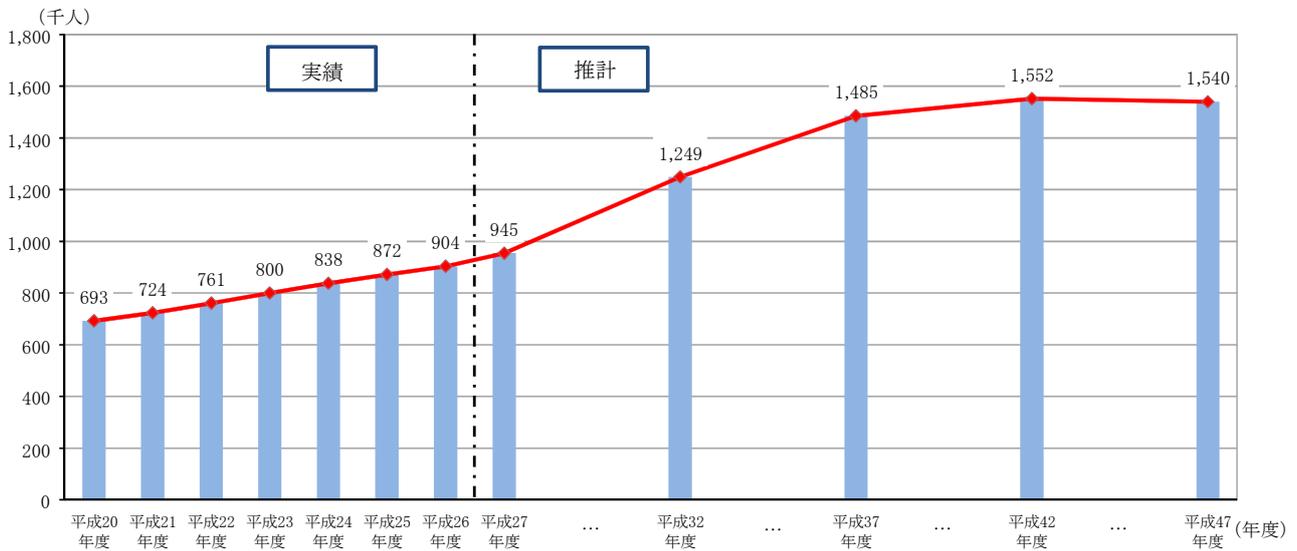
		被保険者数	(再掲) 現役並み所得者	(再掲) 低所得Ⅰ該当者	(再掲) 低所得Ⅱ該当者
年齢階層	65歳～69歳	2,237	51	599	617
	70歳～74歳	2,726	97	657	847
	75歳～79歳	429,677	58,547	43,663	71,819
	80歳～84歳	309,650	34,247	50,573	54,345
	85歳～89歳	177,490	17,057	42,844	29,931
	90歳～94歳	76,802	6,269	26,884	10,925
	95歳～99歳	21,240	1,371	9,121	3,131
	100歳～	3,567	236	1,596	581
	計	1,023,389	117,875	175,937	172,196
(再掲) 被扶養者であった被保険者数		53,362	1,861	12,628	7,729

出典：神奈川県広域連合 2017年03月 年齢別月報

(3) 被保険者数の推移

被保険者数は、制度が開始された平成20年度は69万3千人でしたが、平成26年度には90万4千人となり、6年間で21万1千人（30.4%）増加しました。平成37年度には148万5千人となり、平成26年度の1.6倍を超え、その後も増加傾向は続く見込みです。

被保険者数推計



出典：『日本の将来推計人口（平成24年1月推計／出生中位・死亡中位）』国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』国立社会保障・人口問題研究所
『後期高齢者医療事業年報 第2表都道府県別医療費の状況』厚生労働省
(注) 実績の被保険者数は、3月末～2月末における平均の被保険者数です。

(4) 死因に関する分析

死因順位を見ると、第1位は30.2%の悪性新生物（がん）、第2位は14.6%の心疾患（心臓病）、第3位は8.2%の老衰、第4位は8.1%の肺炎となりました。死亡者のおよそ3人に1人は悪性新生物（がん）で死亡したという結果です。心疾患（心臓病）、脳血管疾患（脳卒中）、肺炎、老衰の占める割合は、年齢が高くなるとともに多くなります。

死因別割合

項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
神奈川県全体	悪性新生物 (30.2%)	心疾患 (高血圧性を除く) (14.6%)	老衰 (8.2%)	肺炎 (8.1%)	脳血管疾患 (7.9%)
うち75歳以上	悪性新生物 (24.2%)	心疾患 (高血圧性を除く) (15.2%)	老衰 (11.4%)	肺炎 (10.0%)	脳血管疾患 (8.2%)

出典：平成28年神奈川県衛生統計年報統計表
(注) 割合は全死亡者に占める割合です。

2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は次のとおりです。

(1) 健康診査事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

被保険者の生活習慣病を早期に発見し、重症化予防を図るため市町村が実施する健康診査の費用の一部を助成する。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率	26.0%	26.5%	27.0%以上

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率	25.24%	25.17%	25.10%
受診者数	234,109人	244,809人	256,892人

【平成29年度市町村別受診率分布(33市町村)】

	10%未満	10~19%	20~29%	30~39%	40~49%	50~59%
市町村数	2	5	8	11	6	1

【結果に対する考察】

受診者数は年々増加しているが、被保険者数が増加したことにより、受診率としては目標値に達しなかった。平成29年度の受診率を市町村別で見ると、53.30%から6.01%と大きな差があり、また、受診率が高い市町村ほど事業実施に係る費用負担が高くなる傾向がある。このことを踏まえ、各市町村が受診率向上に向けた取り組みを行いやすいよう、平成29年度に健康診査事業の補助基準について、一部改正を行った。今後より一層事業効果を高めるため、高齢者の特性を踏まえた健診項目の設定及びそれに則した市町村への補助基準の見直しを行い、県内全体として受診率向上に向けた取り組みが必要となる。

(2) 歯科健康診査事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、前年度75歳到達者を対象に県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	実施 ※事業実施初年度	27年度実績+0.5ポイント 4.15%	27年度実績+1.0ポイント 4.65%

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率(%)	3.65%	4.00%	3.99%
受診者数	3,085人	3,784人	4,115人

【結果に対する考察】

受診者数は年々増加しているが、被保険者数が増加し、事業実施対象者数も増加したことにより受診率としては目標値に達せず、その向上が課題となった。一方で、歯科健康診査を受診し、口腔内の異常が発見された要治療者の内、治療に結び付けることができたケースが約90%あり、歯科健診受診者に対しては一定の事業実施による効果を得ていることが確認できた。

このことから、本事業実施による更なる効果拡大のためには、口腔機能維持の重要性についての周知拡大、健診を受診できる医療機関の増加による被保険者の利便性向上等、歯科健診受診率向上に向けた取り組みが必要となる。また、事業実施対象者の拡大等についても、今後検討が必要とされる。

(3) 医療費通知事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。(年2回の送付のほか、被保険者から希望があった場合は、随時通知を送付。)

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施市町村数	33	33	33

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施市町村数	33	33	33

【結果に対する考察】

県内全域33市町村の被保険者に対し、医療費通知を送付し、被保険者の健康に対する意識の向上や、後期高齢者医療制度への理解を深めることができた。引き続き、今後も同目的において本事業を実施することが必要である。

確定申告（医療費控除）の手続きが改正され、平成29年分から一定の記載項目要件を満たした医療費通知が使用できることとなったため、同手続きに使用できるよう、記載項目の改定が必要となる。

通知の送付後、被保険者からの問い合わせが多くあるため、対応できるよう更なる体制整備が必要となる。

(4) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、同一疾病で医療機関への重複・頻回受診等が確認される被保険者を次の基準により選定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による訪問指導（原則2回）を行い、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。

（対象者の選定基準）

- ・ 重複受診者 3か月連続して1か月に同一疾病で医療機関を3か所以上受診している者
- ・ 頻回受診者 3か月連続して1か月に同一医療機関を15回以上受診している者
- ・ 重複投薬者 3か月連続して同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている者（平成27年度から追加）

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問者数	30人	40人	50人

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問者数（訪問回数）	89人（121回）	47人（78回）	61人（103回）

【結果に対する考察】

訪問者数については目標値を達成することができたが、事業対象者に訪問指導を実施することや、2回の訪問指導を完了することが困難な状況であった。今後、更に本事業の実効性を向上させるためには、対象者の選定方法及びアプローチ方法等の見直しを図る必要がある。

(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業

【実施年度】

平成27年度から平成29年度まで

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知数(通)	20,000通以上	30,000通以上	40,000通以上

【主な効果・結果】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
通知数(通)	19,971通	30,593通	40,173通

【結果に対する考察】

平成27年度については目標値をわずかに下回ったが、その後は目標値を達成することができた。今後も引き続き、本事業を実施するとともに、加えて、ジェネリック医薬品の安全性に係る普及啓発の実施及び被保険者の自己負担の軽減についてだけでなく、後期高齢者医療制度の安定化、保険料の抑制等に繋がることについても周知を図り、より一層の医療費適正化の推進が必要となる。

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、神奈川県後期高齢者医療広域連合における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。

①市区町村別被保険者数

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)の被保険者数を市区町村別に示します。

被保険者数

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
横浜市鶴見区	26,015	26,131	26,169	26,344	26,407	26,491
横浜市神奈川区	23,671	23,771	23,806	23,967	24,028	24,126
横浜市西区	9,458	9,476	9,489	9,535	9,563	9,584
横浜市中区	14,100	14,128	14,145	14,213	14,225	14,275
横浜市南区	23,965	24,068	24,107	24,274	24,345	24,426
横浜市保土ヶ谷区	25,420	25,477	25,532	25,743	25,807	25,914
横浜市磯子区	21,258	21,352	21,376	21,518	21,578	21,684
横浜市金沢区	25,874	25,960	26,029	26,239	26,343	26,470
横浜市港北区	30,958	31,051	31,138	31,355	31,464	31,592
横浜市戸塚区	31,245	31,373	31,483	31,763	31,888	32,090
横浜市港南区	28,028	28,191	28,245	28,499	28,647	28,803
横浜市旭区	34,283	34,440	34,545	34,797	34,905	35,037
横浜市緑区	18,535	18,650	18,698	18,872	18,972	19,050
横浜市瀬谷区	15,940	16,034	16,075	16,198	16,262	16,330
横浜市栄区	16,989	17,081	17,144	17,304	17,416	17,526
横浜市泉区	19,163	19,255	19,313	19,504	19,576	19,674
横浜市青葉区	27,354	27,517	27,622	27,889	28,036	28,173
横浜市都筑区	15,196	15,274	15,339	15,471	15,567	15,645
川崎市川崎区	21,438	21,518	21,550	21,659	21,721	21,826
川崎市幸区	15,825	15,873	15,950	16,034	16,048	16,113
川崎市中原区	17,681	17,744	17,783	17,873	17,908	17,978
川崎市高津区	17,147	17,214	17,246	17,389	17,470	17,546
川崎市多摩区	18,207	18,294	18,348	18,472	18,526	18,597
川崎市宮前区	18,994	19,095	19,189	19,376	19,504	19,594
川崎市麻生区	18,063	18,162	18,204	18,361	18,427	18,527
相模原市緑区	17,509	17,638	17,708	17,891	17,993	18,106
相模原市中央区	26,324	26,529	26,640	26,905	27,075	27,258
相模原市南区	30,695	30,884	30,993	31,299	31,481	31,656
横須賀市	59,015	59,272	59,389	59,844	60,025	60,227

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
平塚市	30,535	30,681	30,730	31,042	31,151	31,321
鎌倉市	28,165	28,266	28,334	28,526	28,595	28,731
藤沢市	46,996	47,216	47,348	47,775	47,979	48,199
小田原市	25,727	25,784	25,856	26,013	26,101	26,225
茅ヶ崎市	28,697	28,829	28,898	29,171	29,283	29,442
逗子市	9,764	9,790	9,828	9,884	9,905	9,929
三浦市	7,847	7,869	7,885	7,940	7,987	7,992
秦野市	18,520	18,650	18,729	18,930	19,036	19,129
厚木市	21,638	21,775	21,862	22,093	22,236	22,401
大和市	23,472	23,563	23,693	23,970	24,076	24,230
伊勢原市	10,901	10,954	11,004	11,115	11,171	11,243
海老名市	12,949	13,041	13,094	13,221	13,295	13,397
座間市	13,385	13,476	13,521	13,669	13,769	13,846
南足柄市	6,064	6,104	6,126	6,193	6,223	6,260
綾瀬市	9,139	9,199	9,229	9,347	9,433	9,535
葉山町	5,077	5,083	5,099	5,144	5,152	5,173
寒川町	5,114	5,149	5,171	5,207	5,254	5,287
大磯町	4,979	5,007	5,027	5,064	5,082	5,120
二宮町	4,646	4,659	4,677	4,707	4,727	4,752
中井町	1,246	1,251	1,251	1,260	1,269	1,274
大井町	1,943	1,954	1,953	1,976	1,984	2,001
松田町	1,781	1,780	1,788	1,795	1,793	1,798
山北町	1,954	1,962	1,952	1,960	1,968	1,969
開成町	1,885	1,903	1,904	1,915	1,928	1,930
箱根町	1,965	1,969	1,975	1,989	1,993	1,995
真鶴町	1,442	1,444	1,445	1,450	1,460	1,461
湯河原町	4,605	4,619	4,627	4,664	4,672	4,688
愛川町	4,426	4,447	4,462	4,500	4,520	4,555
清川村	402	401	403	411	415	417
広域連合全体	1,003,614	1,008,277	1,011,126	1,019,519	1,023,664	1,028,618

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

②基礎統計

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)の被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等进行分析しました。被保険者数は平均1,015,803人、レセプト件数は平均2,471,282件、患者数は平均829,433人となりました。また、患者一人当たりの医療費は平均79,158円となりました。

基礎統計

		平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	6カ月平均	6カ月合計	
A	被保険者数(人)	1,003,614	1,008,277	1,011,126	1,019,519	1,023,664	1,028,618	1,015,803		
B	レセプト件数(件)	入院外	1,368,480	1,357,946	1,382,238	1,328,907	1,325,797	1,398,453	1,360,304	8,161,821
		入院	52,955	53,698	53,534	53,855	54,796	55,243	54,014	324,081
		調剤	1,056,682	1,050,644	1,084,889	1,034,224	1,026,790	1,088,561	1,056,965	6,341,790
		合計	2,478,117	2,462,288	2,520,661	2,416,986	2,407,383	2,542,257	2,471,282	14,827,692
C	医療費(円) ※	64,952,408,960	64,998,822,190	66,394,789,790	65,455,529,880	63,439,806,490	68,696,466,290	65,656,303,933	393,937,823,600	
D	患者数(人) ※	824,258	826,024	833,332	823,992	823,427	845,567	829,433	4,976,600	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	64,719	64,465	65,664	64,202	61,973	66,785	64,635		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	26,210	26,398	26,340	27,081	26,352	27,022	26,568		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	78,801	78,689	79,674	79,437	77,044	81,243	79,158		
B/A	受診率(%)	246.9%	244.2%	249.3%	237.1%	235.2%	247.2%	243.3%		
D/A	有病率(%)	82.1%	81.9%	82.4%	80.8%	80.4%	82.2%	81.7%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

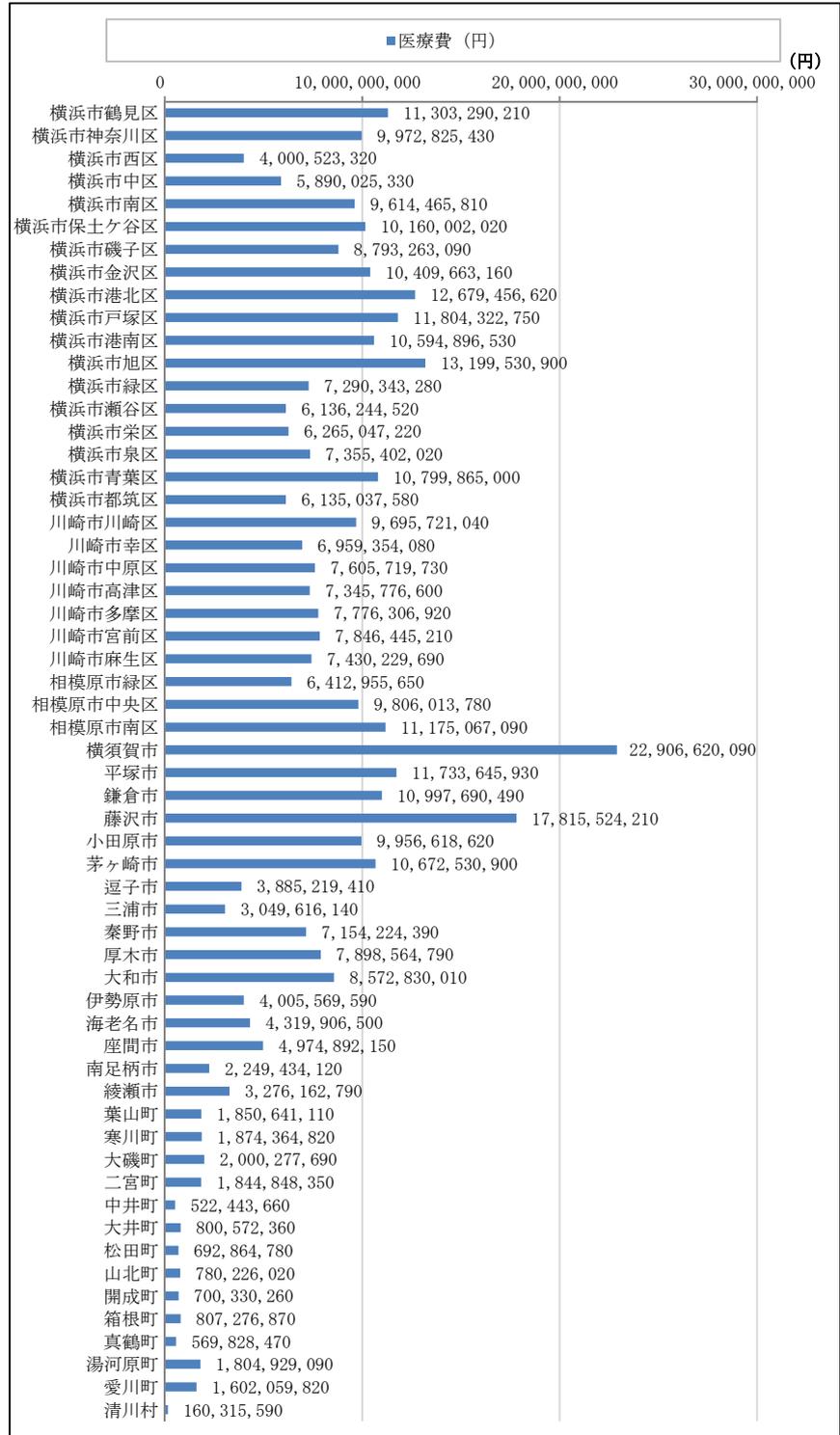
※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

③市区町村別医療費

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)の医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 医療費

市区町村名	医療費 (円)
横浜市鶴見区	11,303,290,210
横浜市神奈川区	9,972,825,430
横浜市西区	4,000,523,320
横浜市中区	5,890,025,330
横浜市南区	9,614,465,810
横浜市保土ヶ谷区	10,160,002,020
横浜市磯子区	8,793,263,090
横浜市金沢区	10,409,663,160
横浜市港北区	12,679,456,620
横浜市戸塚区	11,804,322,750
横浜市港南区	10,594,896,530
横浜市旭区	13,199,530,900
横浜市緑区	7,290,343,280
横浜市瀬谷区	6,136,244,520
横浜市栄区	6,265,047,220
横浜市泉区	7,355,402,020
横浜市青葉区	10,799,865,000
横浜市都筑区	6,135,037,580
川崎市川崎区	9,695,721,040
川崎市幸区	6,959,354,080
川崎市中原区	7,605,719,730
川崎市高津区	7,345,776,600
川崎市多摩区	7,776,306,920
川崎市宮前区	7,846,445,210
川崎市麻生区	7,430,229,690
相模原市緑区	6,412,955,650
相模原市中央区	9,806,013,780
相模原市南区	11,175,067,090
横須賀市	22,906,620,090
平塚市	11,733,645,930
鎌倉市	10,997,690,490
藤沢市	17,815,524,210
小田原市	9,956,618,620
茅ヶ崎市	10,672,530,900
逗子市	3,885,219,410
三浦市	3,049,616,140
秦野市	7,154,224,390
厚木市	7,898,564,790
大和市	8,572,830,010
伊勢原市	4,005,569,590
海老名市	4,319,906,500
座間市	4,974,892,150
南足柄市	2,249,434,120
綾瀬市	3,276,162,790
葉山町	1,850,641,110
寒川町	1,874,364,820
大磯町	2,000,277,690
二宮町	1,844,848,350
中井町	522,443,660
大井町	800,572,360
松田町	692,864,780
山北町	780,226,020
開成町	700,330,260
箱根町	807,276,870
真鶴町	569,828,470
湯河原町	1,804,929,090
愛川町	1,602,059,820
清川村	160,315,590
広域連合全体	393,937,823,600

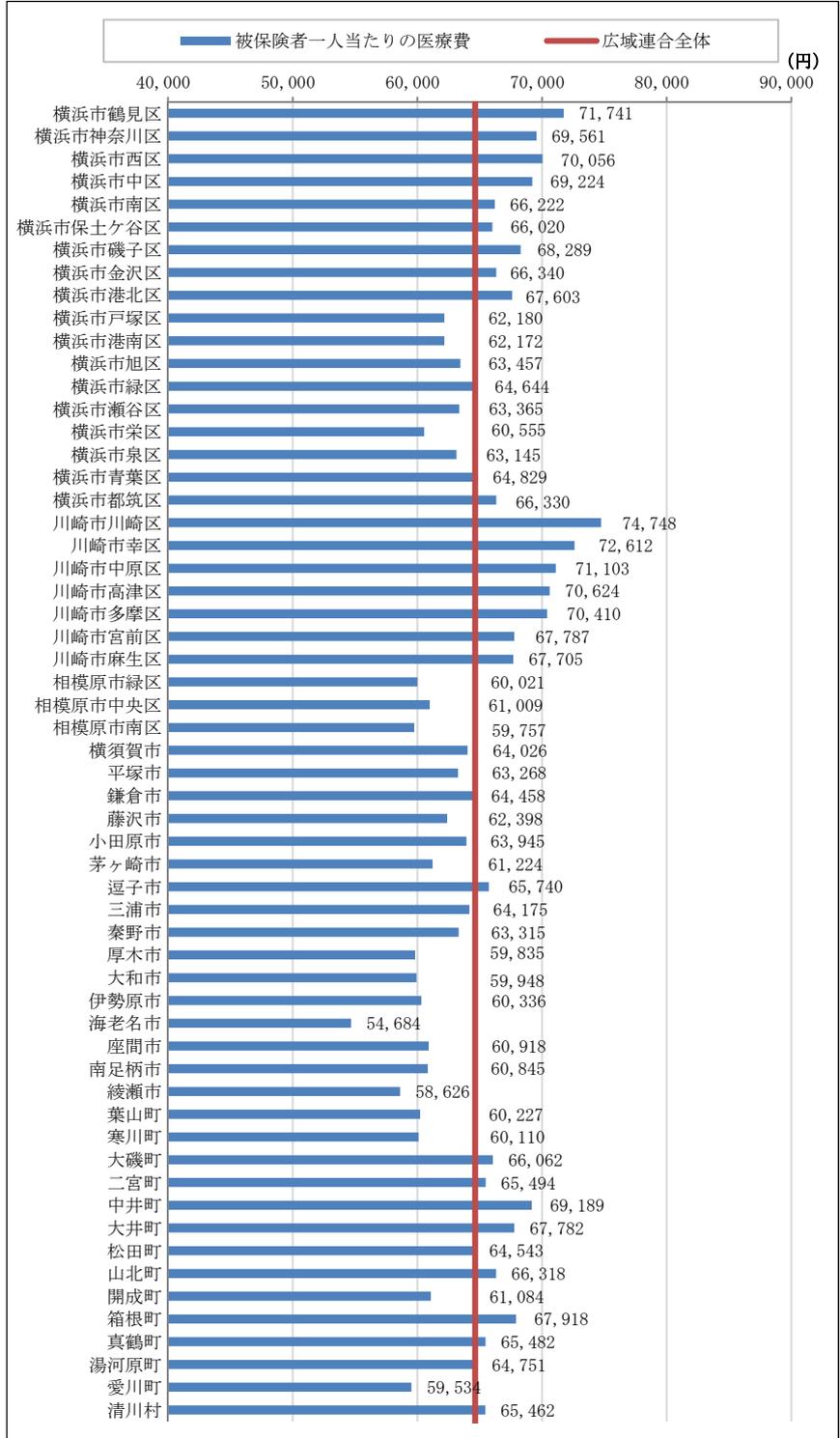


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

被保険者一人当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 被保険者一人当たり医療費

市区町村名	被保険者一人当たりの医療費 (円)
横浜市鶴見区	71,741
横浜市神奈川区	69,561
横浜市西区	70,056
横浜市中区	69,224
横浜市南区	66,222
横浜市保土ヶ谷区	66,020
横浜市磯子区	68,289
横浜市金沢区	66,340
横浜市港北区	67,603
横浜市戸塚区	62,180
横浜市港南区	62,172
横浜市旭区	63,457
横浜市緑区	64,644
横浜市瀬谷区	63,365
横浜市栄区	60,555
横浜市泉区	63,145
横浜市青葉区	64,829
横浜市都筑区	66,330
川崎市川崎区	74,748
川崎市幸区	72,612
川崎市中原区	71,103
川崎市高津区	70,624
川崎市多摩区	70,410
川崎市宮前区	67,787
川崎市麻生区	67,705
相模原市緑区	60,021
相模原市中央区	61,009
相模原市南区	59,757
横須賀市	64,026
平塚市	63,268
鎌倉市	64,458
藤沢市	62,398
小田原市	63,945
茅ヶ崎市	61,224
逗子市	65,740
三浦市	64,175
秦野市	63,315
厚木市	59,835
大和市	59,948
伊勢原市	60,336
海老名市	54,684
座間市	60,918
南足柄市	60,845
綾瀬市	58,626
葉山町	60,227
寒川町	60,110
大磯町	66,062
二宮町	65,494
中井町	69,189
大井町	67,782
松田町	64,543
山北町	66,318
開成町	61,084
箱根町	67,918
真鶴町	65,482
湯河原町	64,751
愛川町	59,534
清川村	65,462
広域連合全体	64,635

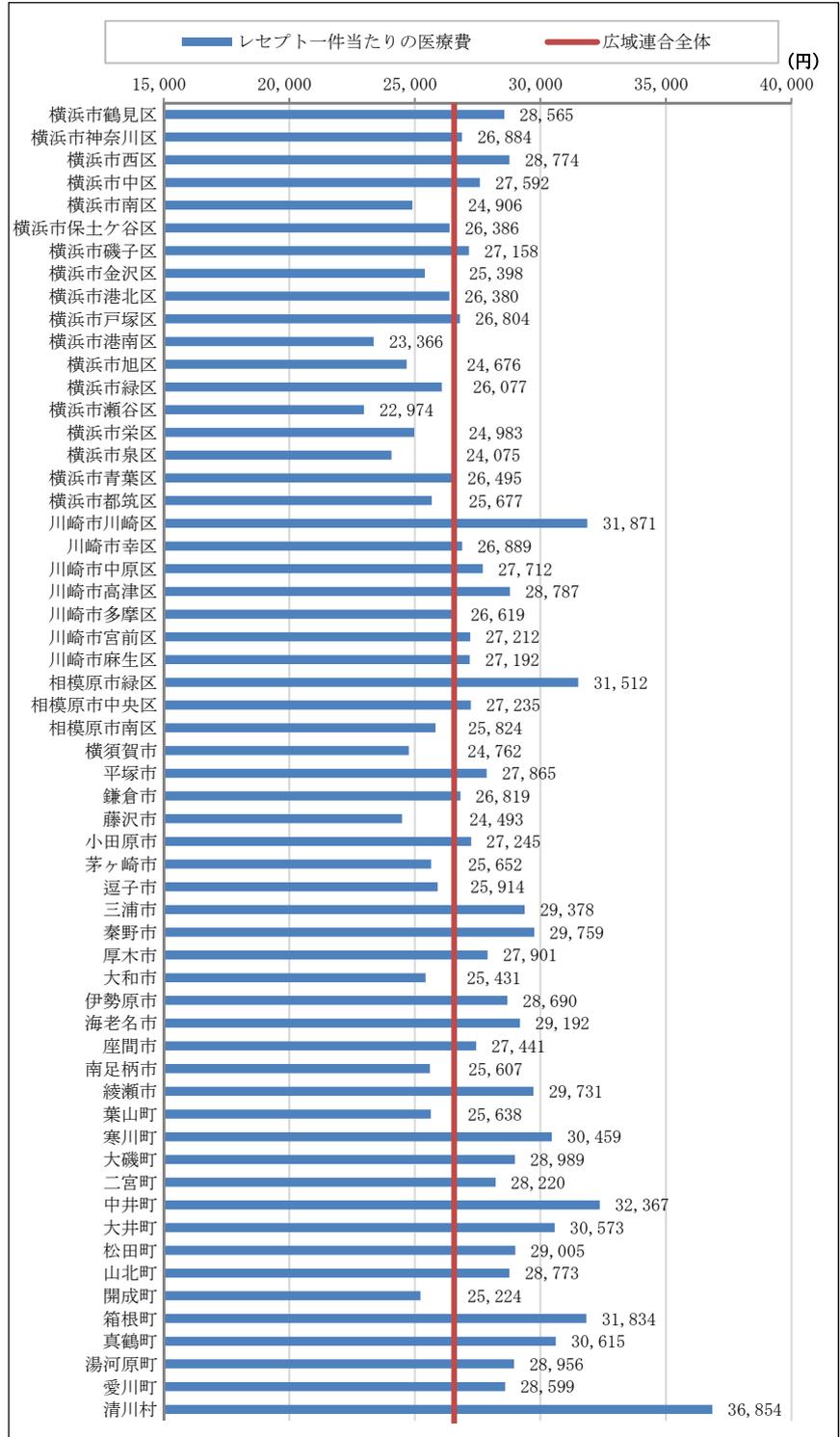


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

レセプト一件当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 レセプト一件当たりの医療費

市区町村名	レセプト一件当たりの医療費 (円)
横浜市鶴見区	28,565
横浜市神奈川区	26,884
横浜市西区	28,774
横浜市中区	27,592
横浜市南区	24,906
横浜市保土ヶ谷区	26,386
横浜市磯子区	27,158
横浜市金沢区	25,398
横浜市港北区	26,380
横浜市戸塚区	26,804
横浜市港南区	23,366
横浜市旭区	24,676
横浜市緑区	26,077
横浜市瀬谷区	22,974
横浜市栄区	24,983
横浜市泉区	24,075
横浜市青葉区	26,495
横浜市都筑区	25,677
川崎市川崎区	31,871
川崎市幸区	26,889
川崎市中原区	27,712
川崎市高津区	28,787
川崎市多摩区	26,619
川崎市宮前区	27,212
川崎市麻生区	27,192
相模原市緑区	31,512
相模原市中央区	27,235
相模原市南区	25,824
横須賀市	24,762
平塚市	27,865
鎌倉市	26,819
藤沢市	24,493
小田原市	27,245
茅ヶ崎市	25,652
逗子市	25,914
三浦市	29,378
秦野市	29,759
厚木市	27,901
大和市	25,431
伊勢原市	28,690
海老名市	29,192
座間市	27,441
南足柄市	25,607
綾瀬市	29,731
葉山町	25,638
寒川町	30,459
大磯町	28,989
二宮町	28,220
中井町	32,367
大井町	30,573
松田町	29,005
山北町	28,773
開成町	25,224
箱根町	31,834
真鶴町	30,615
湯河原町	28,956
愛川町	28,599
清川村	36,854
広域連合全体	26,568

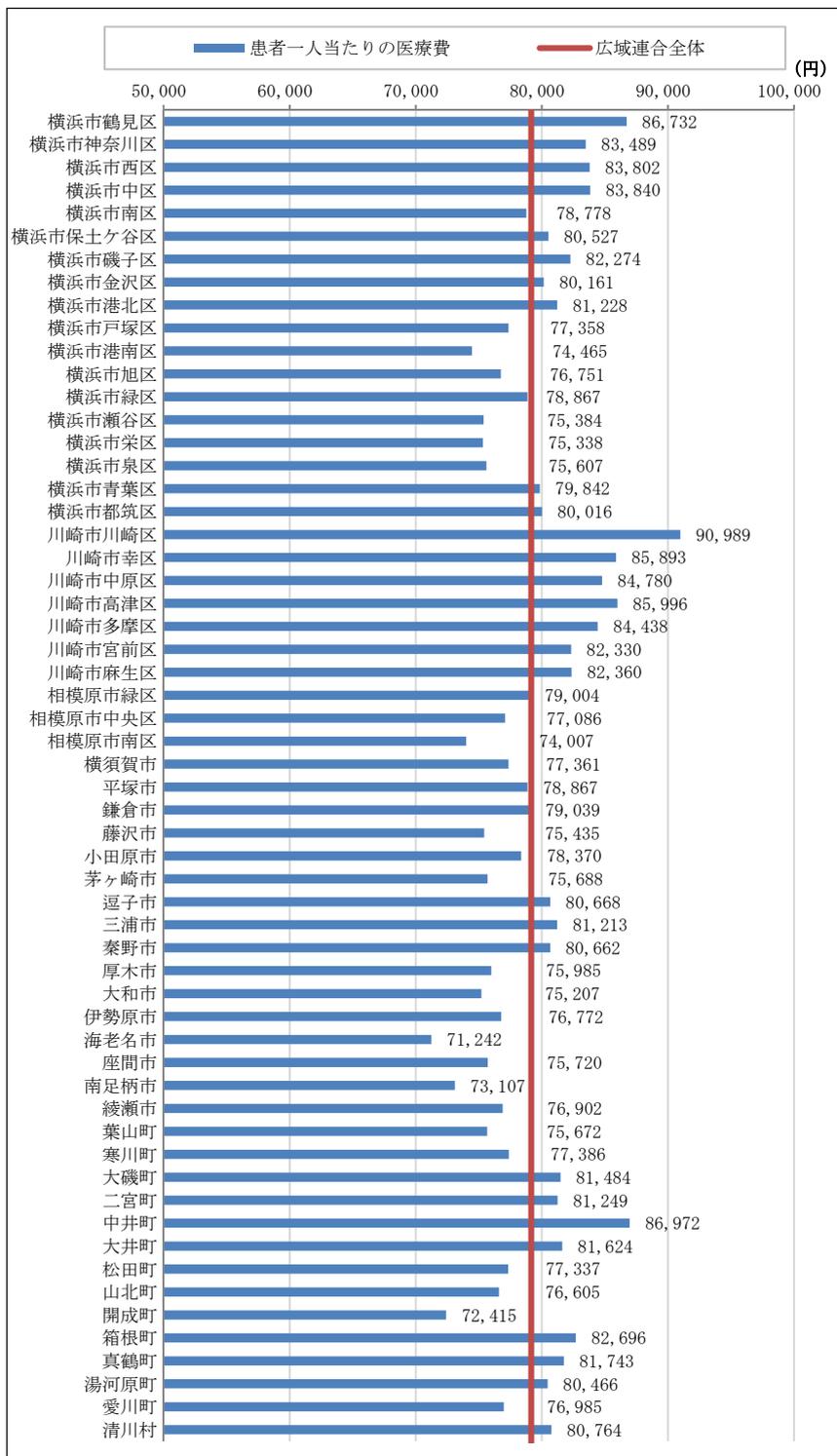


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

患者一人当たりの医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 患者一人当たりの医療費

市区町村名	患者一人当たりの医療費 (円)
横浜市鶴見区	86,732
横浜市神奈川区	83,489
横浜市西区	83,802
横浜市中区	83,840
横浜市南区	78,778
横浜市保土ヶ谷区	80,527
横浜市磯子区	82,274
横浜市金沢区	80,161
横浜市港北区	81,228
横浜市戸塚区	77,358
横浜市港南区	74,465
横浜市旭区	76,751
横浜市緑区	78,867
横浜市瀬谷区	75,384
横浜市栄区	75,338
横浜市泉区	75,607
横浜市青葉区	79,842
横浜市都筑区	80,016
川崎市川崎区	90,989
川崎市幸区	85,893
川崎市中原区	84,780
川崎市高津区	85,996
川崎市多摩区	84,438
川崎市宮前区	82,330
川崎市麻生区	82,360
相模原市緑区	79,004
相模原市中央区	77,086
相模原市南区	74,007
横須賀市	77,361
平塚市	78,867
鎌倉市	79,039
藤沢市	75,435
小田原市	78,370
茅ヶ崎市	75,688
逗子市	80,668
三浦市	81,213
秦野市	80,662
厚木市	75,985
大和市	75,207
伊勢原市	76,772
海老名市	71,242
座間市	75,720
南足柄市	73,107
綾瀬市	76,902
葉山町	75,672
寒川町	77,386
大磯町	81,484
二宮町	81,249
中井町	86,972
大井町	81,624
松田町	77,337
山北町	76,605
開成町	72,415
箱根町	82,696
真鶴町	81,743
湯河原町	80,466
愛川町	76,985
清川村	80,764
広域連合全体	79,158



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは月平均24,371件発生しており、レセプト件数全体の1.0%を占めています。全体を見ると高額レセプトの医療費は228億7,040万円となり、医療費全体の34.8%を占めます。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	6カ月平均	6カ月合計
A	レセプト件数(件)	2,478,117	2,462,288	2,520,661	2,416,986	2,407,383	2,542,257	2,471,282	14,827,692
B	高額レセプト件数(件)	23,877	23,783	24,386	25,440	23,431	25,307	24,371	146,224
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.0%	1.0%	1.0%	1.1%	1.0%	1.0%	1.0%	
C	医療費(円) ※	64,952,408,960	64,998,822,190	66,394,789,790	65,455,529,880	63,439,806,490	68,696,466,290	65,656,303,933	393,937,823,600
D	高額レセプトの医療費(円) ※	22,418,537,830	22,474,274,630	22,886,659,740	23,748,061,480	21,691,025,950	24,003,865,730	22,870,404,227	137,222,425,360
E	その他レセプトの医療費(円) ※	42,533,871,130	42,524,547,560	43,508,130,050	41,707,468,400	41,748,780,540	44,692,600,560	42,785,899,707	256,715,398,240
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.5%	34.6%	34.5%	36.3%	34.2%	34.9%	34.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

年齢範囲…年齢基準日時点の年齢を65歳～999歳の範囲で分析対象としています。

年齢基準日…平成29年3月31日時点。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②市区町村別高額レセプトの件数及び割合

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)における、高額レセプトの件数及び医療費を市区町村別に示します。

市区町村別 高額レセプトの件数及び医療費

市区町村名	A	B	B/A	C	D	E	D/C
	レセプト件数 (件)	高額レセプト 件数(件)	総レセプト件数に 占める高額 レセプトの 割合(%)	医療費全体 (円)※	高額レセプト 医療費(円)※	その他レセプトの 医療費(円)※	総医療費に 占める高額 レセプトの 割合(%)
横浜市鶴見区	395,711	4,483	1.1%	11,303,290,210	4,369,897,910	6,933,392,300	38.7%
横浜市神奈川区	370,956	3,653	1.0%	9,972,825,430	3,589,906,820	6,382,918,610	36.0%
横浜市西区	139,033	1,614	1.2%	4,000,523,320	1,498,794,500	2,501,728,820	37.5%
横浜市中区	213,467	2,140	1.0%	5,890,025,330	2,126,228,360	3,763,796,970	36.1%
横浜市南区	386,031	3,387	0.9%	9,614,465,810	3,171,008,110	6,443,457,700	33.0%
横浜市保土ヶ谷区	385,053	3,849	1.0%	10,160,002,020	3,610,001,160	6,550,000,860	35.5%
横浜市磯子区	323,783	3,341	1.0%	8,793,263,090	3,196,357,450	5,596,905,640	36.4%
横浜市金沢区	409,867	3,957	1.0%	10,409,663,160	3,697,679,690	6,711,983,470	35.5%
横浜市港北区	480,640	4,570	1.0%	12,679,456,620	4,500,875,670	8,178,580,950	35.5%
横浜市戸塚区	440,387	4,484	1.0%	11,804,322,750	4,282,747,330	7,521,575,420	36.3%
横浜市港南区	453,439	3,546	0.8%	10,594,896,530	3,353,150,830	7,241,745,700	31.6%
横浜市旭区	534,916	4,623	0.9%	13,199,530,900	4,442,786,250	8,756,744,650	33.7%
横浜市緑区	279,569	2,701	1.0%	7,290,343,280	2,570,850,460	4,719,492,820	35.3%
横浜市瀬谷区	267,092	2,124	0.8%	6,136,244,520	1,987,454,640	4,148,789,880	32.4%
横浜市栄区	250,775	2,095	0.8%	6,265,047,220	2,050,194,640	4,214,852,580	32.7%
横浜市泉区	305,520	2,735	0.9%	7,355,402,020	2,526,799,730	4,828,602,290	34.4%
横浜市青葉区	407,614	3,897	1.0%	10,799,865,000	3,710,021,530	7,089,843,470	34.4%
横浜市都筑区	238,932	2,134	0.9%	6,135,037,580	2,075,919,000	4,059,118,580	33.8%
川崎市川崎区	304,213	4,126	1.4%	9,695,721,040	3,836,383,250	5,859,337,790	39.6%
川崎市幸区	258,816	2,566	1.0%	6,959,354,080	2,428,564,220	4,530,789,860	34.9%
川崎市中原区	274,457	2,904	1.1%	7,605,719,730	2,700,627,040	4,905,092,690	35.5%
川崎市高津区	255,174	2,788	1.1%	7,345,776,600	2,621,726,630	4,724,049,970	35.7%
川崎市多摩区	292,135	3,090	1.1%	7,776,306,920	2,844,447,260	4,931,859,660	36.6%
川崎市宮前区	288,349	2,781	1.0%	7,846,445,210	2,688,357,570	5,158,087,640	34.3%
川崎市麻生区	273,251	3,024	1.1%	7,430,229,690	2,768,116,850	4,662,112,840	37.3%
相模原市緑区	203,506	2,549	1.3%	6,412,955,650	2,275,287,680	4,137,667,970	35.5%
相模原市中央区	360,052	3,772	1.0%	9,806,013,780	3,424,516,960	6,381,496,820	34.9%
相模原市南区	432,733	4,239	1.0%	11,175,067,090	3,800,096,580	7,374,970,510	34.0%
横須賀市	925,068	7,780	0.8%	22,906,620,090	7,528,673,240	15,377,946,850	32.9%
平塚市	421,092	4,599	1.1%	11,733,645,930	4,111,853,800	7,621,792,130	35.0%
鎌倉市	410,070	4,043	1.0%	10,997,690,490	3,734,771,080	7,262,919,410	34.0%
藤沢市	727,369	6,285	0.9%	17,815,524,210	5,796,047,640	12,019,476,570	32.5%
小田原市	365,452	3,543	1.0%	9,956,618,620	3,195,021,780	6,761,596,840	32.1%
茅ヶ崎市	416,050	4,038	1.0%	10,672,530,900	3,730,802,200	6,941,728,700	35.0%
逗子市	149,925	1,413	0.9%	3,885,219,410	1,363,262,830	2,521,956,580	35.1%
三浦市	103,806	1,028	1.0%	3,049,616,140	991,494,520	2,058,121,620	32.5%
秦野市	240,405	2,885	1.2%	7,154,224,390	2,686,756,890	4,467,467,500	37.6%
厚木市	283,093	2,767	1.0%	7,898,564,790	2,637,775,580	5,260,789,210	33.4%
大和市	337,097	3,222	1.0%	8,572,830,010	3,009,954,460	5,562,875,550	35.1%
伊勢原市	139,614	1,601	1.1%	4,005,569,590	1,469,443,790	2,536,125,800	36.7%
海老名市	147,982	1,606	1.1%	4,319,906,500	1,457,530,560	2,862,375,940	33.7%
座間市	181,294	1,885	1.0%	4,974,892,150	1,700,925,780	3,273,966,370	34.2%
南足柄市	87,845	708	0.8%	2,249,434,120	713,832,040	1,535,602,080	31.7%
綾瀬市	110,195	1,317	1.2%	3,276,162,790	1,172,258,650	2,103,904,140	35.8%
葉山町	72,183	666	0.9%	1,850,641,110	653,309,650	1,197,331,460	35.3%
寒川町	61,537	752	1.2%	1,874,364,820	654,951,640	1,219,413,180	34.9%
大磯町	69,001	859	1.2%	2,000,277,690	741,092,810	1,259,184,880	37.0%
二宮町	65,374	771	1.2%	1,844,848,350	701,943,860	1,142,904,490	38.0%
中井町	16,141	226	1.4%	522,443,660	214,733,380	307,710,280	41.1%
大井町	26,186	322	1.2%	800,572,360	309,590,350	490,982,010	38.7%
松田町	23,888	286	1.2%	692,864,780	251,646,410	441,218,370	36.3%
山北町	27,117	267	1.0%	780,226,020	256,602,830	523,623,190	32.9%
開成町	27,764	231	0.8%	700,330,260	225,504,810	474,825,450	32.2%
箱根町	25,359	295	1.2%	807,276,870	267,073,100	540,203,770	33.1%
真鶴町	18,613	226	1.2%	569,828,470	208,056,510	361,771,960	36.5%
湯河原町	62,333	706	1.1%	1,804,929,090	617,616,210	1,187,312,880	34.2%
愛川町	56,018	661	1.2%	1,602,059,820	608,030,180	994,029,640	38.0%
清川村	4,350	64	1.5%	160,315,590	63,070,660	97,244,930	39.3%
広域連合全体	14,827,692	146,224	1.0%	393,937,823,600	137,222,425,360	256,715,398,240	34.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

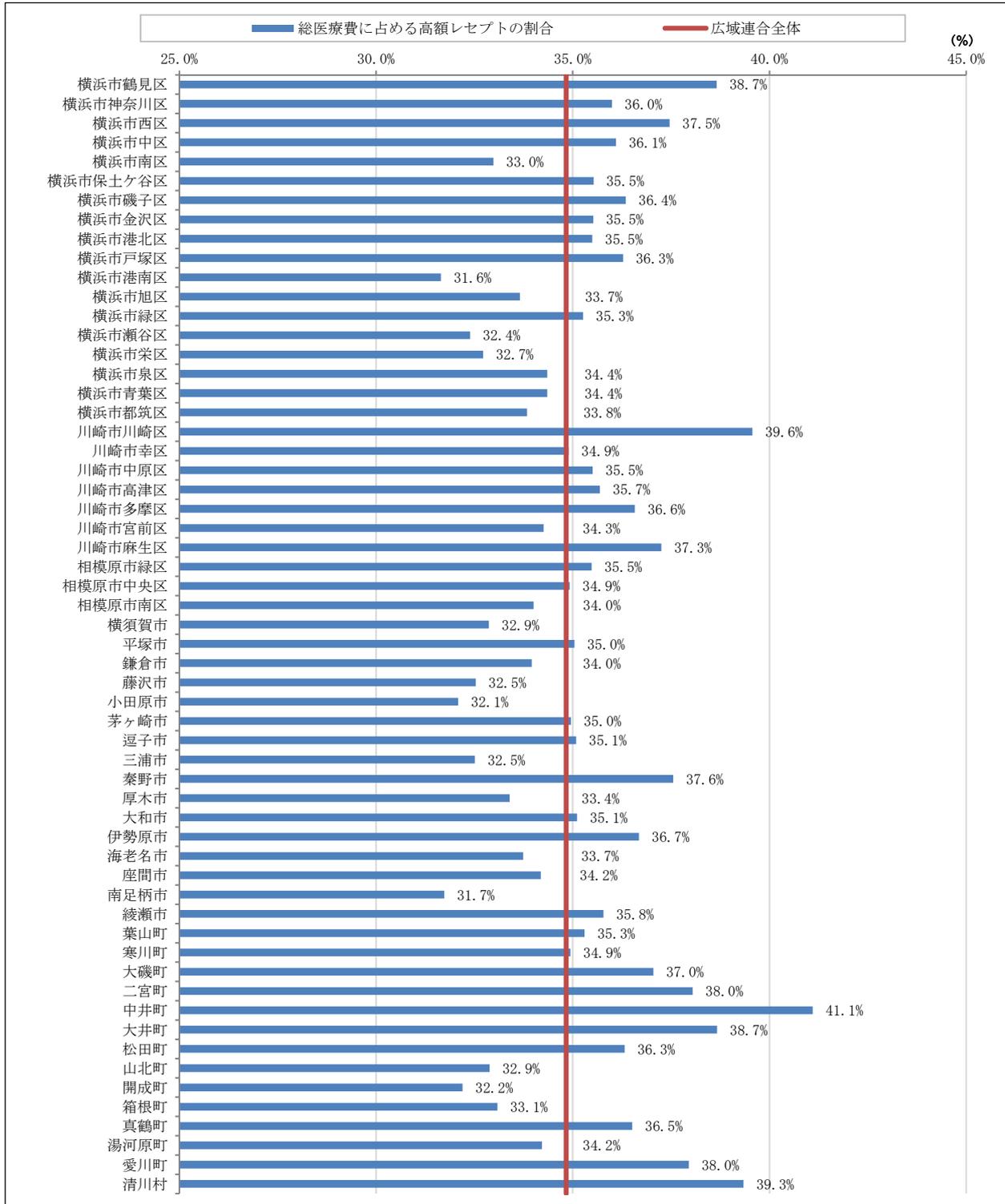
※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

総医療費に占める高額レセプトの割合を市区町村別に示します。

市区町村別 総医療費に占める高額レセプトの割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

③高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示します。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の分析期間中の全医療費を入院、入院外で集計しました。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「くも膜下出血」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「その他の循環器系の疾患」等となりました。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
				入院	入院外	合計	
1	0904	くも膜下出血	290	1,068,868,530	23,363,870	1,092,232,400	3,766,319
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	159	555,922,880	9,678,500	565,601,380	3,557,241
3	0912	その他の循環器系の疾患	1,319	4,234,775,190	358,133,390	4,592,908,580	3,482,114
4	1701	心臓の先天奇形	5	16,354,980	835,890	17,190,870	3,438,174
5	0209	白血病	317	717,053,230	353,637,110	1,070,690,340	3,377,572
6	1402	腎不全	2,987	6,245,132,790	3,782,849,440	10,027,982,230	3,357,209
7	0105	ウイルス性肝炎	410	120,816,270	1,245,160,580	1,365,976,850	3,331,651
8	1307	その他の脊柱障害	138	401,417,060	37,474,000	438,891,060	3,180,370
9	0208	悪性リンパ腫	599	1,345,321,040	484,945,030	1,830,266,070	3,055,536
10	0907	脳動脈硬化(症)	1	2,904,820	0	2,904,820	2,904,820
11	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	455	1,138,222,460	170,419,010	1,308,641,470	2,876,135
12	0905	脳内出血	1,347	3,742,128,770	126,463,040	3,868,591,810	2,872,006
13	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	161	454,270,660	7,287,350	461,558,010	2,866,820
14	0507	その他の精神及び行動の障害	148	411,314,090	10,790,760	422,104,850	2,852,060
15	0107	真菌症	204	507,687,220	65,788,680	573,475,900	2,811,156
16	1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	27	66,220,350	6,738,810	72,959,160	2,702,191
17	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1,685	2,568,952,460	1,838,508,290	4,407,460,750	2,615,704
18	0906	脳梗塞	4,755	11,607,232,990	587,197,210	12,194,430,200	2,564,549
19	0501	血管性及び詳細不明の認知症	388	948,911,370	21,418,330	970,329,700	2,500,850
20	0601	パーキンソン病	855	1,957,557,640	175,318,210	2,132,875,850	2,494,592

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計します。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限りません)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

※疾病分類とコードは巻末資料をご参照ください。

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)の疾病傾向を患者数順に示します。患者数が多い疾病は「骨折」「その他の心疾患」「その他の呼吸器系の疾患」です。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 腰椎圧迫骨折	9,220	18,093,961,350	1,661,825,350	19,755,786,700	2,142,710
2	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 大動脈弁狭窄症	6,303	13,156,049,400	1,978,099,860	15,134,149,260	2,401,103
3	1011	その他の呼吸器系の疾患	顕性肺炎, 間質性肺炎, 特発性間質性肺炎	5,352	8,595,151,680	1,258,460,430	9,853,612,110	1,841,108
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝頭部癌, 多発性骨髄腫	5,034	7,534,837,900	3,937,828,350	11,472,666,250	2,279,036
5	0906	脳梗塞	脳梗塞, 心原性脳塞栓症, アテローム血栓性脳梗塞	4,755	11,607,232,990	587,197,210	12,194,430,200	2,564,549
6	1004	肺炎	肺炎, 細菌性肺炎, 急性肺炎	4,018	5,633,637,490	764,005,350	6,397,642,840	1,592,246
7	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 狭心症, 不安定狭心症	3,149	6,252,402,240	913,524,300	7,165,926,540	2,275,620
8	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	2,987	6,245,132,790	3,782,849,440	10,027,982,230	3,357,209
9	1113	その他の消化器系の疾患	鼠径ヘルニア, 癒着性イレウス, 絞扼性イレウス	2,803	3,794,467,900	650,393,420	4,444,861,320	1,585,751
10	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 横紋筋融解, 人工股関節周囲骨折	2,078	4,054,146,090	319,784,130	4,373,930,220	2,104,875
11	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 変形性腰椎症	1,739	3,802,512,630	418,415,040	4,220,927,670	2,427,215
12	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	1,685	2,568,952,460	1,838,508,290	4,407,460,750	2,615,704
13	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆管炎, 総胆管結石, 急性胆のう炎	1,633	2,096,761,710	367,612,490	2,464,374,200	1,509,109
14	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 横行結腸癌	1,512	2,567,585,450	777,762,500	3,345,347,950	2,212,532
15	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 胃前庭部癌	1,508	2,463,007,950	617,625,790	3,080,633,740	2,042,861
16	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 原発性膝関節症	1,478	3,035,770,880	383,003,260	3,418,774,140	2,313,108
17	0905	脳内出血	脳出血, 脳皮質下出血, 視床出血	1,347	3,742,128,770	126,463,040	3,868,591,810	2,872,006
18	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 急性大動脈解離StanfordB	1,319	4,234,775,190	358,133,390	4,592,908,580	3,482,114
19	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	ペースメーカー電池消耗, 頸髄損傷, 肩腱板断裂	1,127	2,062,732,210	276,031,100	2,338,763,310	2,075,211
20	0109	その他の感染症及び寄生虫症	敗血症, 敗血症性ショック, グラム陰性桿菌敗血症	997	2,163,790,950	208,011,390	2,371,802,340	2,378,939

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計します。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限りません)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費総計、レセプト件数、患者数を算出しました。「循環器系の疾患」が医療費合計の21.6%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は医療費合計の10.9%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示します。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1. 感染症及び寄生虫症	7,893,341,632	2.0%	13	920,816	14	240,973	12	32,756	12
2. 新生物<腫瘍>	41,160,030,168	10.5%	3	1,139,711	12	306,073	10	134,478	1
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,293,722,576	1.1%	15	546,299	16	138,691	16	30,959	13
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	26,888,275,079	6.9%	7	5,030,023	3	648,641	3	41,453	10
5. 精神及び行動の障害	10,604,339,562	2.7%	11	1,210,483	11	170,767	15	62,098	6
6. 神経系の疾患	25,403,068,025	6.5%	8	3,382,349	5	416,816	7	60,946	7
7. 眼及び付属器の疾患	16,428,200,734	4.2%	10	1,915,165	7	420,178	6	39,098	11
8. 耳及び乳様突起の疾患	1,231,220,944	0.3%	17	321,967	17	90,073	17	13,669	16
9. 循環器系の疾患	84,811,386,783	21.6%	1	6,802,679	1	774,281	1	109,536	2
10. 呼吸器系の疾患	30,872,051,363	7.9%	4	2,643,434	6	517,494	5	59,657	8
11. 消化器系の疾患 ※	29,901,074,506	7.6%	5	5,324,238	2	676,152	2	44,222	9
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,363,362,185	1.6%	14	1,623,425	10	335,254	9	18,981	15
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	42,864,504,150	10.9%	2	4,728,945	4	599,953	4	71,446	5
14. 腎尿路生殖器系の疾患	29,101,800,121	7.4%	6	1,764,560	9	302,047	11	96,349	4
15. 妊娠、分娩及び産じょく ※	988,111	0.0%	20	472	20	237	20	4,169	21
16. 周産期に発生した病態 ※	627,460	0.0%	21	307	21	216	21	2,905	22
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	140,182,730	0.0%	19	40,052	19	12,977	19	10,802	17
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,316,142,566	2.1%	12	1,815,075	8	367,894	8	22,605	14
19. 損傷、中毒及びその他の外因の響	24,291,590,600	6.2%	9	958,726	13	225,667	13	107,644	3
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,565,933,230	0.4%	16	776,745	15	184,071	14	8,507	19
22. 特殊目的用コード	42,093	0.0%	22	5	22	4	22	10,523	18
分類外	167,077,952	0.0%	18	113,438	18	27,921	18	5,984	20
合計	392,298,962,570			14,661,314		986,119		397,821	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費総計…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しません(一件のレセプトに複数の疾病が含まれます)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者が含まれます)。

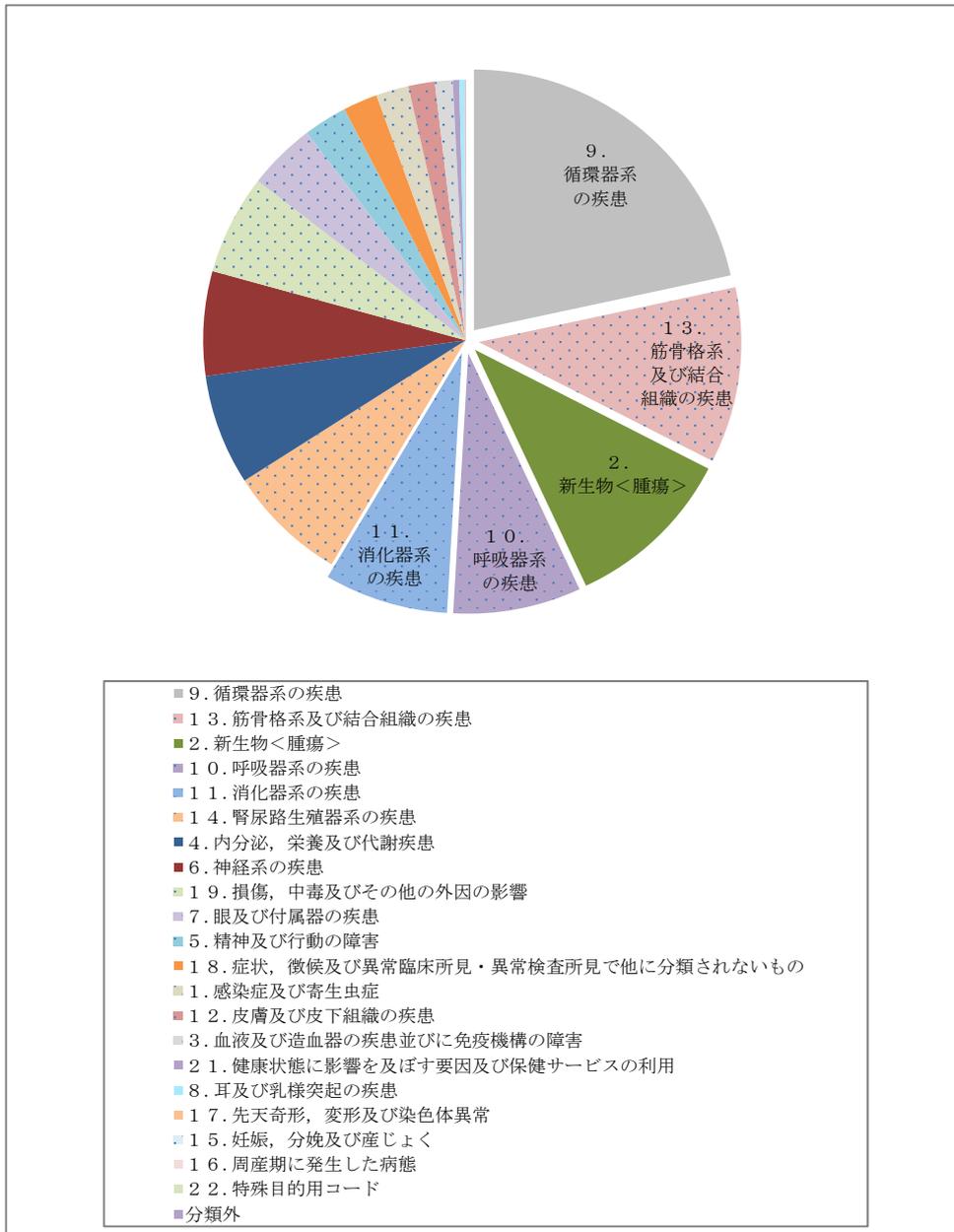
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性があります。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性があります。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「新生物<腫瘍>」「呼吸器系の疾患」「消化器系の疾患」の医療費で過半数を占めます。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

②市区町村別大分類による医療費上位5疾病

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)における、大分類による医療費上位5疾病を市区町村別に示します。

市区町村別 大分類による医療費上位5疾病

市区町村名	1位	2位	3位	4位	5位
横浜市鶴見区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市神奈川区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
横浜西区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市中区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜南区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
横浜市保土ヶ谷区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市磯子区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市金沢区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市港北区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
横浜市戸塚区	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市港南区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
横浜市旭区	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	11.消化器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
横浜市緑区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
横浜市瀬谷区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市栄区	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	4.内分泌、栄養及び代謝疾患
横浜市泉区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市青葉区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	6.神経系の疾患	11.消化器系の疾患
横浜市都筑区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	14.腎尿路生殖器系の疾患	11.消化器系の疾患
川崎市川崎区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
川崎市幸区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
川崎市中原区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	14.腎尿路生殖器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
川崎市高津区	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	11.消化器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
川崎市多摩区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
川崎市宮前区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患	10.呼吸器系の疾患
川崎市麻生区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	6.神経系の疾患
相模原市緑区	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
相模原市中央区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	14.腎尿路生殖器系の疾患	11.消化器系の疾患
相模原市南区	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
横須賀市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	14.腎尿路生殖器系の疾患	11.消化器系の疾患
平塚市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
鎌倉市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
藤沢市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
小田原市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患
茅ヶ崎市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	11.消化器系の疾患	4.内分泌、栄養及び代謝疾患
逗子市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
三浦市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	14.腎尿路生殖器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	11.消化器系の疾患
秦野市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
厚木市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患
大和市	9.循環器系の疾患	13.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	10.呼吸器系の疾患	11.消化器系の疾患

市区町村名	1位	2位	3位	4位	5位
伊勢原市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患
海老名市	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 0.呼吸器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患
座間市	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 0.呼吸器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患
南足柄市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患	6.神経系の疾患
綾瀬市	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患	1 1.消化器系の疾患
葉山町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	1 1.消化器系の疾患
寒川町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 4.腎尿路生殖器系の疾患	1 1.消化器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患
大磯町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患
二宮町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 0.呼吸器系の疾患	6.神経系の疾患
中井町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	1 1.消化器系の疾患
大井町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	6.神経系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 1.消化器系の疾患
松田町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	6.神経系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患
山北町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 1.消化器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患
開成町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	4.内分泌, 栄養及び代謝疾患	1 1.消化器系の疾患
箱根町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 1.消化器系の疾患
真鶴町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 0.呼吸器系の疾患	1 1.消化器系の疾患
湯河原町	9.循環器系の疾患	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	2.新生物<腫瘍>	6.神経系の疾患	4.内分泌, 栄養及び代謝疾患
愛川町	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 3.筋骨格系及び結合組織の疾患	1 0.呼吸器系の疾患	1 1.消化器系の疾患
清川村	9.循環器系の疾患	2.新生物<腫瘍>	1 0.呼吸器系の疾患	1 4.腎尿路生殖器系の疾患	1 1.消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月資格を確認して集計。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

③中分類による疾病別医療費統計

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示します。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0903	その他の心疾患	25,695,964,071	6.6%	342,307
2	0901	高血圧性疾患	19,341,371,312	4.9%	642,267
3	1402	腎不全	18,753,598,295	4.8%	53,773
4	1113	その他の消化器系の疾患	18,066,797,839	4.6%	535,953
5	1901	骨折	17,858,058,879	4.6%	115,019
6	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	17,507,001,773	4.5%	163,435
7	0906	脳梗塞	13,576,767,206	3.5%	177,735
8	0402	糖尿病	12,770,119,983	3.3%	408,637
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	12,029,075,450	3.1%	169,442
10	1309	骨の密度及び構造の障害	11,900,966,442	3.0%	268,541

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	19,341,371,312	642,267	65.1%
2	1113	その他の消化器系の疾患	18,066,797,839	535,953	54.3%
3	0402	糖尿病	12,770,119,983	408,637	41.4%
4	0403	脂質異常症	9,388,643,253	392,396	39.8%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,316,142,566	367,894	37.3%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	9,421,878,465	353,272	35.8%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,200,896,404	351,645	35.7%
8	0903	その他の心疾患	25,695,964,071	342,307	34.7%
9	0606	その他の神経系の疾患	9,079,956,005	340,077	34.5%
10	0703	屈折及び調節の障害	1,154,187,687	336,093	34.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者が含まれます)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	1,013,124,350	2,275	445,329
2	1402	腎不全	18,753,598,295	53,773	348,755
3	0904	くも膜下出血	1,084,126,630	3,773	287,338
4	0208	悪性リンパ腫	1,818,087,163	8,242	220,588
5	0506	知的障害<精神遅滞>	10,488,136	51	205,650
6	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,439,609,441	7,368	195,387
7	0601	パーキンソン病	3,843,733,195	20,464	187,829
8	0905	脳内出血	3,539,204,683	19,694	179,710
9	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,576,615,971	9,143	172,440
10	1901	骨折	17,858,058,879	115,019	155,262

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

④市区町村別中分類による医療費上位5疾病

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)における、中分類による医療費上位5疾病を市区町村別に示します。

市区町村別 中分類による医療費上位5疾病

市区町村名	1位	2位	3位	4位	5位
横浜市鶴見区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1901 骨折
横浜市神奈川区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市西区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
横浜市中区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全
横浜市南区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市保土ヶ谷区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市磯子区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市金沢区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市港北区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
横浜市戸塚区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全
横浜市港南区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
横浜市旭区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
横浜市緑区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市瀬谷区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	1011 その他の呼吸器系の疾患
横浜市栄区	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
横浜市泉区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患
横浜市青葉区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折
横浜市都筑区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
川崎市川崎区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
川崎市幸区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患
川崎市中原区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
川崎市高津区	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0901 高血圧性疾患
川崎市多摩区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0906 脳梗塞	0901 高血圧性疾患
川崎市宮前区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全
川崎市麻生区	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0906 脳梗塞	0901 高血圧性疾患
相模原市緑区	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
相模原市中央区	1402 腎不全	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
相模原市南区	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
横須賀市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
平塚市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
鎌倉市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
藤沢市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
小田原市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
茅ヶ崎市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
逗子市	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
三浦市	1402 腎不全	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
秦野市	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全
厚木市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
大和市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1402 腎不全	1901 骨折

市区町村名	1位	2位	3位	4位	5位
伊勢原市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
海老名市	0903 その他の心疾患	1901 骨折	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
座間市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
南足柄市	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1402 腎不全	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折
綾瀬市	0903 その他の心疾患	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>
葉山町	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患	0901 高血圧性疾患	1901 骨折
寒川町	1402 腎不全	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折
大磯町	1402 腎不全	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	1113 その他の消化器系の疾患
二宮町	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	0906 脳梗塞	1402 腎不全
中井町	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	0906 脳梗塞
大井町	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	0906 脳梗塞	1901 骨折	1402 腎不全
松田町	0906 脳梗塞	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患
山北町	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1113 その他の消化器系の疾患	1901 骨折	1402 腎不全
開成町	0901 高血圧性疾患	0903 その他の心疾患	1113 その他の消化器系の疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全
箱根町	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	1901 骨折	0902 虚血性心疾患	1113 その他の消化器系の疾患
真鶴町	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0902 虚血性心疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1113 その他の消化器系の疾患
湯河原町	0903 その他の心疾患	0901 高血圧性疾患	0906 脳梗塞	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1901 骨折
愛川町	0903 その他の心疾患	1901 骨折	0901 高血圧性疾患	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	1402 腎不全
清川村	1402 腎不全	0906 脳梗塞	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	0902 虚血性心疾患	0901 高血圧性疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
		392,298,962,570			14,661,314			986,119				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1. 感染症及び寄生虫症		7,893,341,632	2.0%		920,816	6.3%		240,973	24.4%		32,756	
0101	腸管感染症	567,372,306	0.1%	77	143,462	1.0%	66	51,681	5.2%	56	10,978	91
0102	結核	274,664,074	0.1%	87	41,142	0.3%	90	16,113	1.6%	88	17,046	73
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	40,146,651	0.0%	109	27,667	0.2%	97	16,839	1.7%	85	2,384	121
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	724,876,435	0.2%	74	148,618	1.0%	62	40,548	4.1%	63	17,877	72
0105	ウイルス性肝炎	1,934,512,270	0.5%	50	145,967	1.0%	64	39,553	4.0%	65	48,909	31
0106	その他のウイルス性疾患	117,613,807	0.0%	101	10,709	0.1%	105	4,858	0.5%	102	24,210	58
0107	真菌症	1,606,341,362	0.4%	56	328,704	2.2%	46	86,669	8.8%	44	18,534	70
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	69,136,331	0.0%	107	17,260	0.1%	101	4,610	0.5%	103	14,997	79
0109	その他の感染症及び寄生虫症	2,558,678,396	0.7%	41	164,795	1.1%	59	57,556	5.8%	52	44,455	33
2. 新生物<腫瘍>		41,160,030,168	10.5%		1,139,711	7.8%		306,073	31.0%		134,478	
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	3,726,449,287	0.9%	29	161,678	1.1%	61	55,687	5.6%	54	66,918	26
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	4,041,247,294	1.0%	27	163,021	1.1%	60	57,451	5.8%	53	70,343	24
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,576,615,971	0.4%	57	35,410	0.2%	94	9,143	0.9%	95	172,440	9
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	1,502,824,965	0.4%	59	54,236	0.4%	87	17,159	1.7%	84	87,582	19
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	4,927,032,025	1.3%	22	116,660	0.8%	72	39,638	4.0%	64	124,301	11
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	1,662,105,600	0.4%	55	60,436	0.4%	82	14,626	1.5%	91	113,640	14
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	337,900,863	0.1%	85	12,648	0.1%	103	5,525	0.6%	100	61,159	27
0208	悪性リンパ腫	1,818,087,163	0.5%	53	32,069	0.2%	95	8,242	0.8%	96	220,588	4
0209	白血病	1,013,124,350	0.3%	68	9,480	0.1%	108	2,275	0.2%	110	445,329	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	17,507,001,773	4.5%	6	572,018	3.9%	31	163,435	16.6%	28	107,119	15
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	3,047,640,877	0.8%	37	214,993	1.5%	52	94,322	9.6%	39	32,311	45
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		4,293,722,576	1.1%		546,299	3.7%		138,691	14.1%		30,959	
0301	貧血	2,481,212,705	0.6%	43	402,325	2.7%	42	89,302	9.1%	43	27,785	53
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,812,509,871	0.5%	54	170,923	1.2%	58	66,769	6.8%	50	27,146	54
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患		26,888,275,079	6.9%		5,030,023	34.3%		648,641	65.8%		41,453	
0401	甲状腺障害	1,236,125,065	0.3%	63	360,183	2.5%	44	94,337	9.6%	38	13,103	82
0402	糖尿病	12,770,119,983	3.3%	8	2,289,855	15.6%	5	408,637	41.4%	3	31,251	48
0403	脂質異常症	9,388,643,253	2.4%	14	3,184,863	21.7%	3	392,396	39.8%	4	23,926	60
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,493,386,778	0.9%	33	1,081,552	7.4%	17	180,791	18.3%	24	19,323	68
5. 精神及び行動の障害		10,604,339,562	2.7%		1,210,483	8.3%		170,767	17.3%		62,098	
0501	血管性及び詳細不明の認知症	2,423,569,920	0.6%	45	57,969	0.4%	85	19,556	2.0%	80	123,930	12
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	119,292,473	0.0%	100	7,633	0.1%	110	1,719	0.2%	111	69,396	25
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,670,863,436	0.7%	40	209,645	1.4%	53	29,164	3.0%	72	91,581	17

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	392,298,962,570	14,661,314	986,119

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	2,463,678,205	0.6%	44	472,928	3.2%	39	58,697	6.0%	51	41,973	35
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,022,683,835	0.3%	67	647,405	4.4%	29	92,389	9.4%	41	11,069	90
0506	知的障害<精神遅滞>	10,488,136	0.0%	114	161	0.0%	118	51	0.0%	118	205,650	5
0507	その他の精神及び行動の障害	1,893,763,557	0.5%	51	114,286	0.8%	73	22,622	2.3%	76	83,713	20
6. 神経系の疾患		25,403,068,025	6.5%		3,382,349	23.1%		416,816	42.3%		60,946	
0601	パーキンソン病	3,843,733,195	1.0%	28	147,672	1.0%	63	20,464	2.1%	77	187,829	7
0602	アルツハイマー病	9,695,488,746	2.5%	12	702,980	4.8%	27	90,925	9.2%	42	106,632	16
0603	てんかん	1,218,549,262	0.3%	64	143,631	1.0%	65	23,307	2.4%	75	52,283	30
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,439,609,441	0.4%	60	21,192	0.1%	99	7,368	0.7%	98	195,387	6
0605	自律神経系の障害	125,731,376	0.0%	97	56,413	0.4%	86	8,160	0.8%	97	15,408	77
0606	その他の神経系の疾患	9,079,956,005	2.3%	15	2,681,401	18.3%	4	340,077	34.5%	9	26,700	55
7. 眼及び付属器の疾患		16,428,200,734	4.2%		1,915,165	13.1%		420,178	42.6%		39,098	
0701	結膜炎	1,375,234,721	0.4%	61	777,069	5.3%	24	188,483	19.1%	21	7,296	105
0702	白内障	4,476,899,861	1.1%	24	957,000	6.5%	20	222,208	22.5%	16	20,147	65
0703	屈折及び調節の障害	1,154,187,687	0.3%	65	1,396,560	9.5%	14	336,093	34.1%	10	3,434	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	9,421,878,465	2.4%	13	1,593,894	10.9%	13	353,272	35.8%	6	26,670	56
8. 耳及び乳様突起の疾患		1,231,220,944	0.3%		321,967	2.2%		90,073	9.1%		13,669	
0801	外耳炎	77,831,096	0.0%	105	60,028	0.4%	83	20,251	2.1%	78	3,843	116
0802	その他の外耳疾患	105,751,491	0.0%	102	52,835	0.4%	88	29,260	3.0%	71	3,614	117
0803	中耳炎	185,929,944	0.0%	91	61,048	0.4%	81	16,481	1.7%	86	11,281	88
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	134,975,683	0.0%	95	61,409	0.4%	80	15,414	1.6%	89	8,757	101
0805	メニエール病	173,327,137	0.0%	92	80,252	0.5%	77	16,442	1.7%	87	10,542	95
0806	その他の内耳疾患	203,430,790	0.1%	90	36,364	0.2%	93	10,774	1.1%	94	18,882	69
0807	その他の耳疾患	349,974,803	0.1%	84	113,825	0.8%	74	39,378	4.0%	66	8,888	100
9. 循環器系の疾患		84,811,386,783	21.6%		6,802,679	46.4%		774,281	78.5%		109,536	
0901	高血圧性疾患	19,341,371,312	4.9%	2	5,529,739	37.7%	1	642,267	65.1%	1	30,114	51
0902	虚血性心疾患	11,248,202,375	2.9%	11	1,684,738	11.5%	11	243,780	24.7%	14	46,141	32
0903	その他の心疾患	25,695,964,071	6.6%	1	2,013,040	13.7%	7	342,307	34.7%	8	75,067	22
0904	くも膜下出血	1,084,126,630	0.3%	66	10,252	0.1%	106	3,773	0.4%	104	287,338	3
0905	脳内出血	3,539,204,683	0.9%	31	47,080	0.3%	89	19,694	2.0%	79	179,710	8
0906	脳梗塞	13,576,767,206	3.5%	7	1,102,963	7.5%	16	177,735	18.0%	25	76,388	21
0907	脳動脈硬化(症)	21,525,209	0.0%	111	8,120	0.1%	109	2,655	0.3%	108	8,107	103
0908	その他の脳血管疾患	2,766,992,581	0.7%	38	295,140	2.0%	47	84,295	8.5%	47	32,825	43
0909	動脈硬化(症)	1,828,727,188	0.5%	52	439,155	3.0%	41	100,485	10.2%	37	18,199	71
0911	低血圧(症)	75,678,789	0.0%	106	17,654	0.1%	100	3,130	0.3%	106	24,179	59
0912	その他の循環器系の疾患	5,632,826,739	1.4%	21	467,045	3.2%	40	104,912	10.6%	34	53,691	29
10. 呼吸器系の疾患		30,872,051,363	7.9%		2,643,434	18.0%		517,494	52.5%		59,657	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	124,467,270	0.0%	98	124,624	0.9%	69	46,213	4.7%	58	2,693	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	413,853,942	0.1%	80	290,890	2.0%	48	103,922	10.5%	35	3,982	115
1003	その他の急性上気道感染症	934,665,064	0.2%	70	532,106	3.6%	35	176,490	17.9%	26	5,296	112

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※		
	392,298,962,570			14,661,314			986,119		

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	6,656,596,997	1.7%	19	176,044	1.2%	56	74,380	7.5%	49	89,494	18
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	767,040,161	0.2%	73	339,271	2.3%	45	127,991	13.0%	30	5,993	108
1006	アレルギー性鼻炎	2,108,703,750	0.5%	48	898,130	6.1%	22	196,074	19.9%	20	10,755	93
1007	慢性副鼻腔炎	368,910,781	0.1%	83	174,872	1.2%	57	38,750	3.9%	67	9,520	99
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	282,333,603	0.1%	86	123,081	0.8%	70	41,369	4.2%	61	6,825	107
1009	慢性閉塞性肺疾患	3,666,600,742	0.9%	30	549,431	3.7%	32	92,670	9.4%	40	39,566	38
1010	喘息	3,519,803,603	0.9%	32	618,914	4.2%	30	103,810	10.5%	36	33,906	40
1011	その他の呼吸器系の疾患	12,029,075,450	3.1%	9	542,997	3.7%	34	169,442	17.2%	27	70,992	23
11. 消化器系の疾患		29,901,074,506	7.6%		5,324,238	36.3%		676,152	68.6%		44,222	
1101	う蝕 ※	14,581	0.0%	122	25	0.0%	121	14	0.0%	120	1,042	122
1102	歯肉炎及び歯周疾患	1,382,718	0.0%	116	516	0.0%	115	237	0.0%	115	5,834	110
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	4,487,512	0.0%	115	1,947	0.0%	114	791	0.1%	114	5,673	111
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	2,401,011,934	0.6%	46	752,364	5.1%	26	122,745	12.4%	31	19,561	66
1105	胃炎及び十二指腸炎	4,200,896,404	1.1%	26	2,250,150	15.3%	6	351,645	35.7%	7	11,946	86
1106	痔核	373,886,983	0.1%	82	134,162	0.9%	67	31,112	3.2%	70	12,017	85
1107	アルコール性肝疾患	78,147,060	0.0%	104	12,222	0.1%	104	2,527	0.3%	109	30,925	49
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	166,591,770	0.0%	94	80,518	0.5%	76	15,255	1.5%	90	10,920	92
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	428,516,798	0.1%	79	62,356	0.4%	79	13,308	1.3%	92	32,200	46
1110	その他の肝疾患	898,637,077	0.2%	71	281,125	1.9%	49	85,223	8.6%	46	10,545	94
1111	胆石症及び胆のう炎	2,720,089,288	0.7%	39	179,125	1.2%	55	48,220	4.9%	57	56,410	28
1112	膵疾患	560,614,542	0.1%	78	74,726	0.5%	78	25,391	2.6%	74	22,079	62
1113	その他の消化器系の疾患	18,066,797,839	4.6%	4	3,991,144	27.2%	2	535,953	54.3%	2	33,710	41
12. 皮膚及び皮下組織の疾患		6,363,362,185	1.6%		1,623,425	11.1%		335,254	34.0%		18,981	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	582,227,896	0.1%	76	126,986	0.9%	68	44,242	4.5%	59	13,160	81
1202	皮膚炎及び湿疹	2,497,030,917	0.6%	42	1,038,283	7.1%	18	223,621	22.7%	15	11,166	89
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3,284,103,372	0.8%	36	902,004	6.2%	21	210,213	21.3%	17	15,623	75
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		42,864,504,150	10.9%		4,728,945	32.3%		599,953	60.8%		71,446	
1301	炎症性多発性関節障害	3,396,292,671	0.9%	35	517,695	3.5%	37	85,391	8.7%	45	39,773	37
1302	関節症	7,374,706,178	1.9%	18	1,678,450	11.4%	12	244,828	24.8%	13	30,122	50
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	8,920,590,773	2.3%	16	1,768,621	12.1%	10	267,699	27.1%	12	33,323	42
1304	椎間板障害	620,343,942	0.2%	75	231,326	1.6%	50	40,962	4.2%	62	15,144	78
1305	頸腕症候群	253,300,701	0.1%	89	195,537	1.3%	54	33,655	3.4%	68	7,526	104
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	2,306,922,019	0.6%	47	1,177,293	8.0%	15	202,546	20.5%	18	11,390	87
1307	その他の脊柱障害	849,508,696	0.2%	72	216,752	1.5%	51	43,455	4.4%	60	19,549	67
1308	肩の傷害<損傷>	1,003,651,805	0.3%	69	520,081	3.5%	36	82,623	8.4%	48	12,147	84
1309	骨の密度及び構造の障害	11,900,966,442	3.0%	10	1,972,895	13.5%	8	268,541	27.2%	11	44,317	34
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	6,238,220,923	1.6%	20	1,006,372	6.9%	19	197,603	20.0%	19	31,569	47

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	392,298,962,570	14,661,314	986,119

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
14. 腎尿路生殖器系の疾患	29,101,800,121	7.4%		1,764,560	12.0%		302,047	30.6%		96,349	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	1,328,251,098	0.3%	62	117,490	0.8%	71	32,850	3.3%	69	40,434	36
1402 腎不全	18,753,598,295	4.8%	3	382,653	2.6%	43	53,773	5.5%	55	348,755	2
1403 尿路結石症	391,637,561	0.1%	81	59,494	0.4%	84	18,605	1.9%	82	21,050	64
1404 その他の腎尿路系の疾患	4,815,064,245	1.2%	23	881,281	6.0%	23	181,415	18.4%	23	26,542	57
1405 前立腺肥大(症)	3,413,234,773	0.9%	34	670,024	4.6%	28	105,198	10.7%	33	32,446	44
1406 その他の男性生殖器系の疾患	104,039,573	0.0%	103	25,397	0.2%	98	6,704	0.7%	99	15,519	76
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	23,163,178	0.0%	110	15,344	0.1%	102	5,056	0.5%	101	4,581	113
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	272,811,398	0.1%	88	40,022	0.3%	91	19,334	2.0%	81	14,110	80
15. 妊娠、分娩及び産じょく	988,111	0.0%		472	0.0%		237	0.0%		4,169	
1501 流産	94,388	0.0%	120	40	0.0%	120	13	0.0%	121	7,261	106
1502 妊娠高血圧症候群	1,233	0.0%	123	3	0.0%	123	2	0.0%	123	617	123
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	892,490	0.0%	117	429	0.0%	116	222	0.0%	116	4,020	114
16. 周産期に発生した病態	627,460	0.0%		307	0.0%		216	0.0%		2,905	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1602 その他の周産期に発生した病態	627,460	0.0%	118	307	0.0%	117	216	0.0%	117	2,905	119
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	140,182,730	0.0%		40,052	0.3%		12,977	1.3%		10,802	
1701 心臓の先天奇形	19,879,863	0.0%	112	2,728	0.0%	113	911	0.1%	113	21,822	63
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	120,302,867	0.0%	99	37,358	0.3%	92	12,096	1.2%	93	9,946	97
18. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,316,142,566	2.1%		1,815,075	12.4%		367,894	37.3%		22,605	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,316,142,566	2.1%	17	1,815,075	12.4%	9	367,894	37.3%	5	22,605	61
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	24,291,590,600	6.2%		958,726	6.5%		225,667	22.9%		107,644	
1901 骨折	17,858,058,879	4.6%	5	548,908	3.7%	33	115,019	11.7%	32	155,262	10
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,027,631,542	0.5%	49	31,781	0.2%	96	17,773	1.8%	83	114,085	13
1903 熱傷及び腐食	134,804,991	0.0%	96	9,635	0.1%	107	3,596	0.4%	105	37,487	39
1904 中毒	48,444,935	0.0%	108	7,204	0.0%	111	2,873	0.3%	107	16,862	74
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	4,222,650,253	1.1%	25	481,313	3.3%	38	146,054	14.8%	29	28,912	52
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,565,933,230	0.4%		776,745	5.3%		184,071	18.7%		8,507	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	14,308,777	0.0%	113	2,877	0.0%	112	1,475	0.1%	112	9,701	98
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示します。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示します。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	392,298,962,570	14,661,314	986,119

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	543,689	0.0%	119	76	0.0%	119	42	0.0%	119	12,945	83
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	1,551,080,764	0.4%	58	773,892	5.3%	25	182,937	18.6%	22	8,479	102
22. 特殊目的用コード		42,093	0.0%		5	0.0%		4	0.0%		10,523	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	42,093	0.0%	121	5	0.0%	122	4	0.0%	122	10,523	96
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		167,077,952	0.0%		113,438	0.8%		27,921	2.8%		5,984	
9999	分類外	167,077,952	0.0%	93	113,438	0.8%	75	27,921	2.8%	73	5,984	109

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※医療費総計…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できません。そのため他統計と一致しません。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しません(一件のレセプトに複数の疾病が含まれます)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しません(複数疾病をもつ患者が含まれます)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できません。

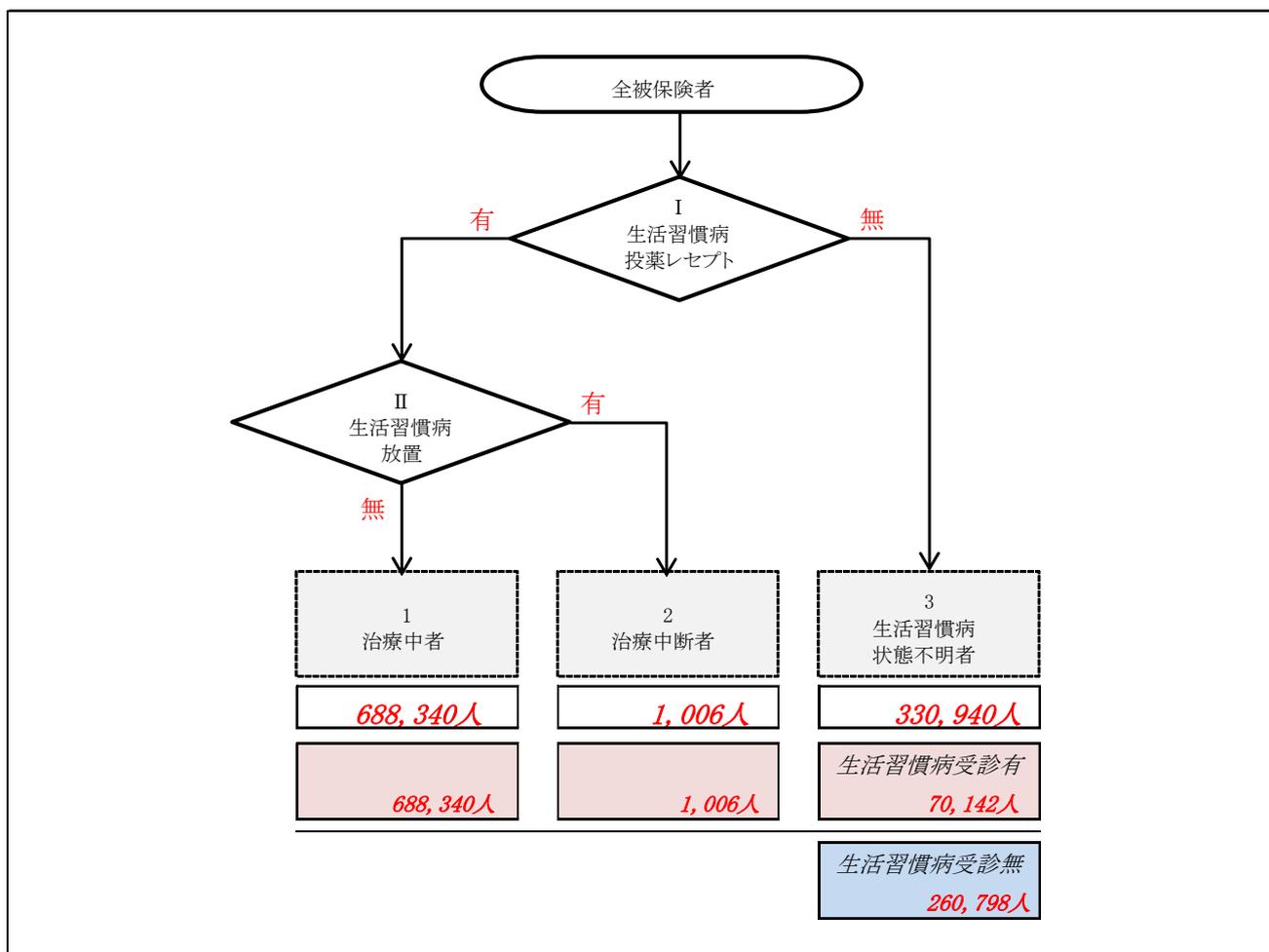
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) レセプトデータによる指導対象者群分析

全被保険者について、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、3つのグループに分類して、分析結果を以下に示します。

「1. 治療中者」に比べて「2. 治療中断者」の健康状態が悪くなっており、「3. 生活習慣病状態不明者」はレセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

レセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6ヵ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

【フロー説明】

I 生活習慣病投薬レセプト…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。

II 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

1. 治療中者 …生活習慣病治療中の者。

2. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。

3. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。

生活習慣病受診有 …「3. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。

生活習慣病受診無 …「3. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

(2)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められます。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「(1)レセプトデータによる指導対象者群分析」において「2. 治療中断者」に該当する患者1,011人が対象となります。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定

・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者

		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	1,006 人
	上記以外のグループ	5 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		1,011 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6ヵ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられます。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、難病等	167 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		844 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6ヵ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者844人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定します。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としました。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 16人	候補者A3 7人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 0人	候補者B2 109人	候補者B3 75人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 17人	候補者C2 306人	候補者C3 314人
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				844人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月~平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

(3) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行いました。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、63.3%が生活習慣を起因とするものであり、その58.8%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

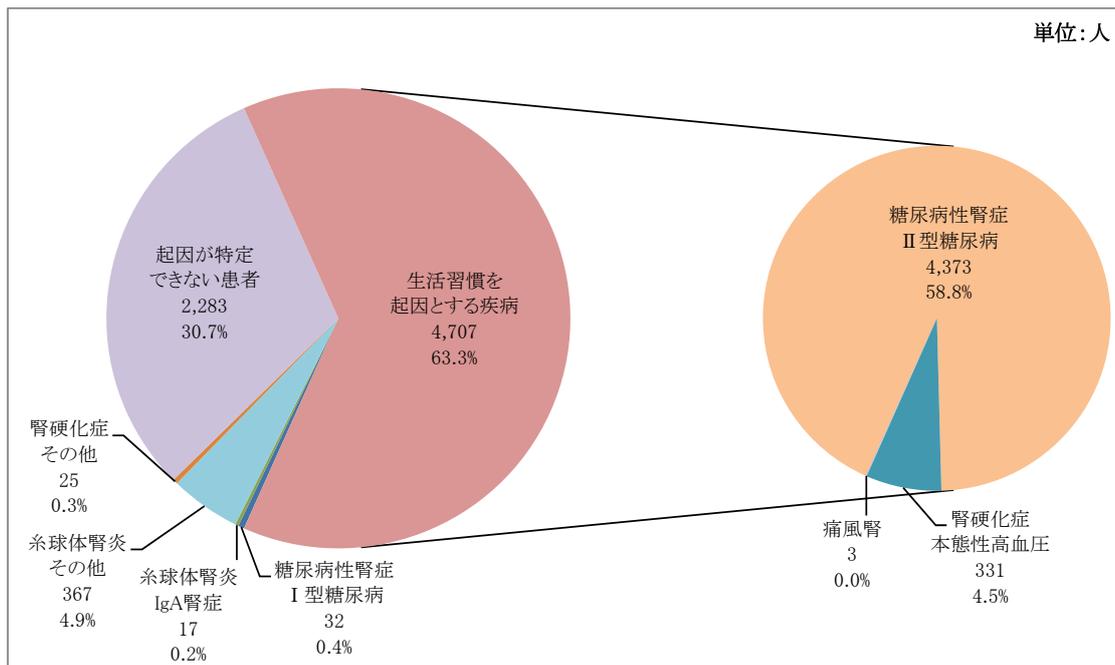
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	7,259
腹膜透析のみ	132
血液透析及び腹膜透析	40
透析患者合計	7,431

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計します。緊急透析と思われる患者は除きます。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

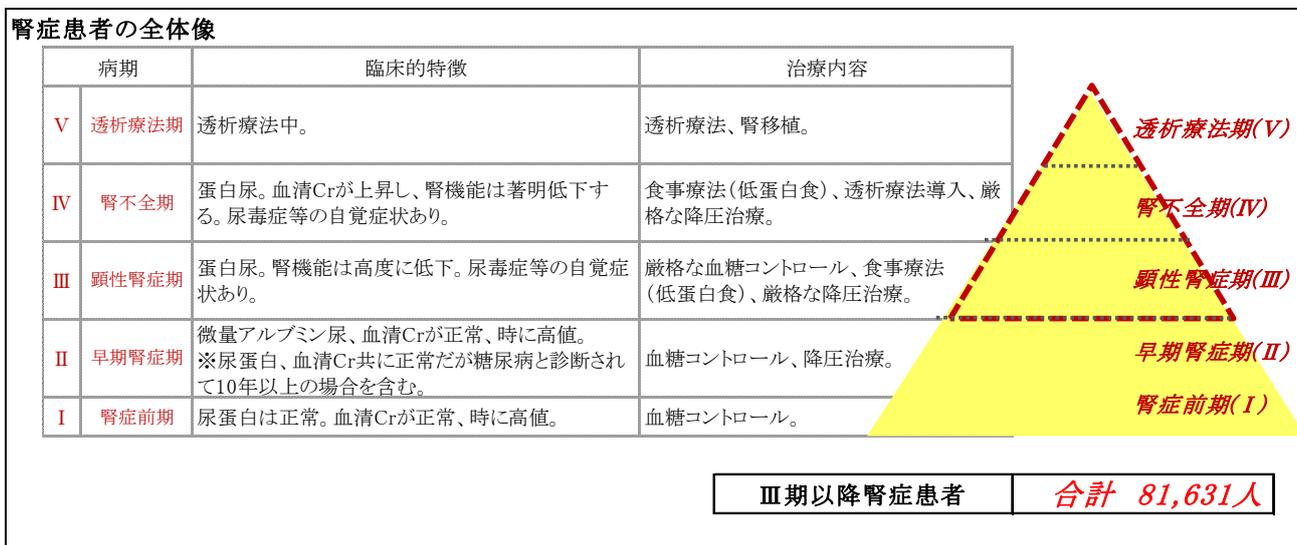
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計します。緊急透析と思われる患者は除きます。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者81,631人中12,067人の適切な指導対象者を特定しました。

腎症患者の全体像を以下に示します。

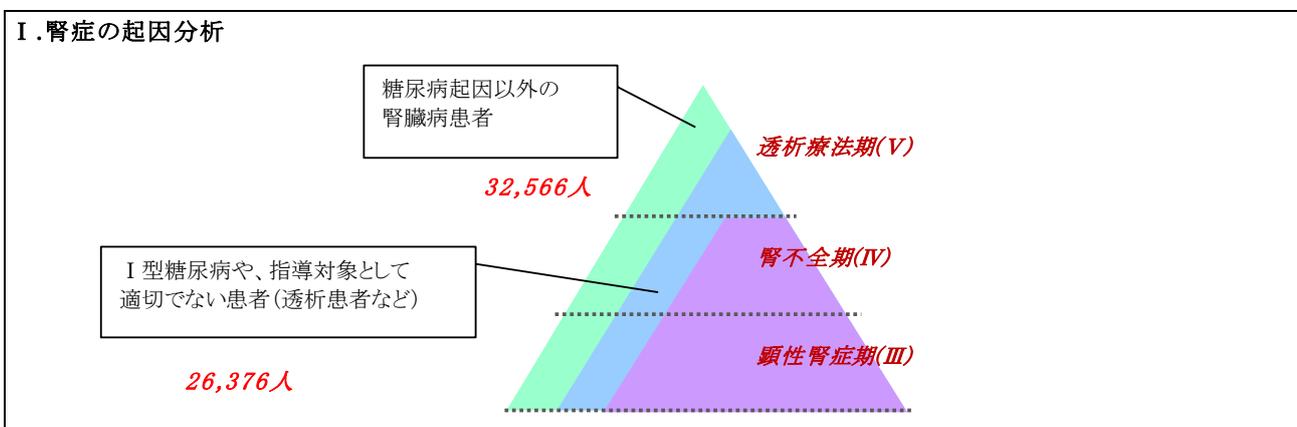
腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」を以下に示します。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、32,566人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、26,376人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

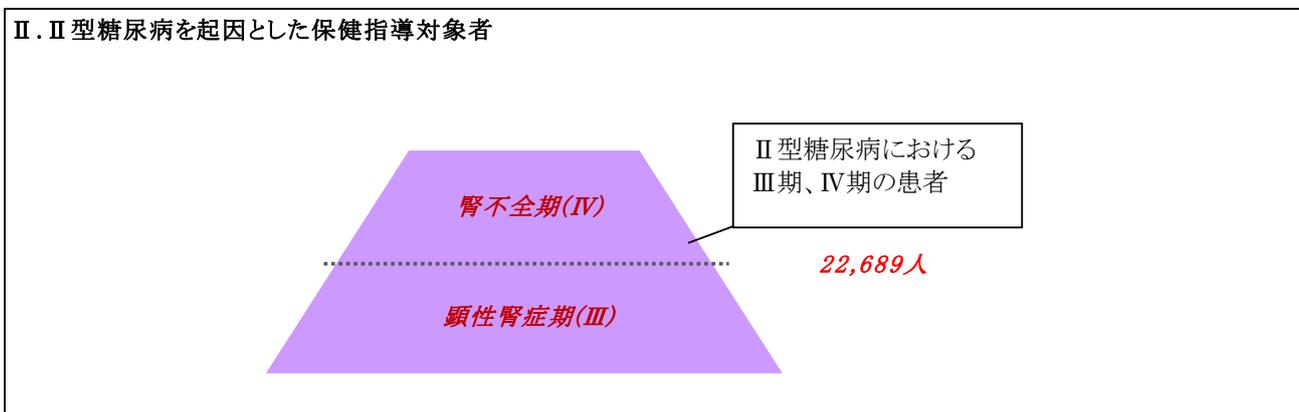
腎症の起因分析と指導対象者適合分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示します。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて22,689人となります。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

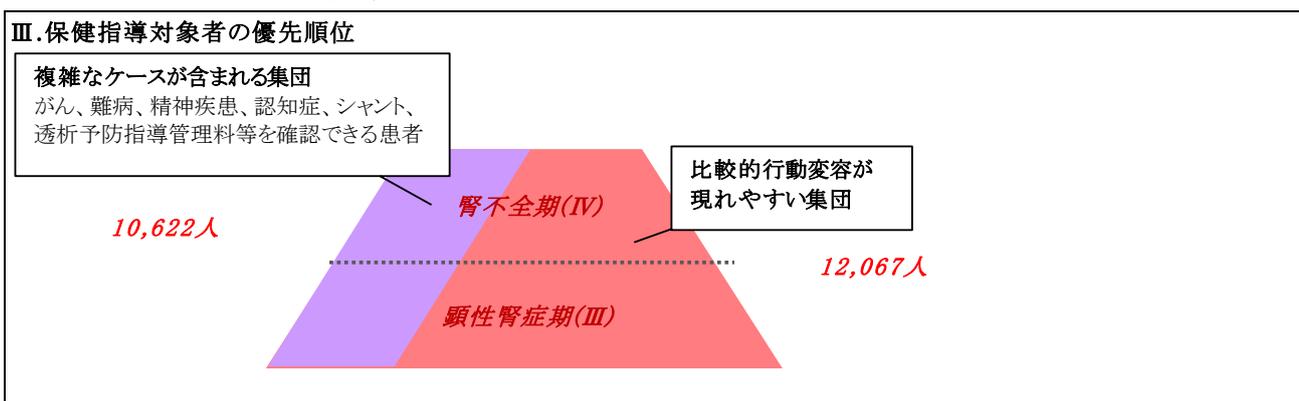


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。22,689人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、10,622人存在します。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、12,067人存在します。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

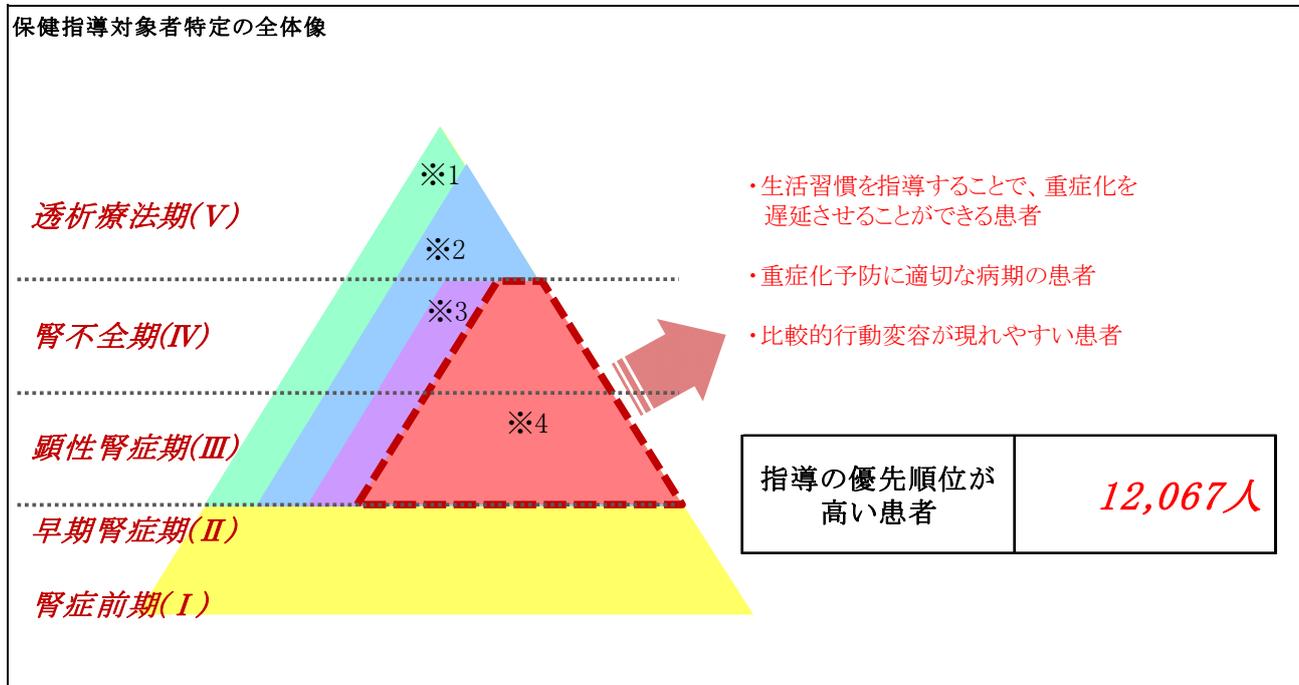
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析と指導対象者適合分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、12,067人となりました。この分析の全体像を以下に示します。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(4) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複投薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。指導対象者数の分析結果は以下の通りです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複投薬者」について平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	
重複受診者数(人) ※	2,169	2,179	2,227	2,107	2,036	2,485	
						6カ月間の延べ人数	13,203
						6カ月間の実人数	10,550

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とします。
透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とします。

頻回受診者数

	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	
頻回受診者数(人) ※	12,303	10,884	10,271	8,986	10,475	12,861	
						6カ月間の延べ人数	65,780
						6カ月間の実人数	24,275

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とします。
透析患者は対象外とします。

重複投薬者数

	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	
重複服薬者数(人) ※	2,250	9,901	13,345	13,333	11,734	13,888	
						6カ月間の延べ人数	64,451
						6カ月間の実人数	38,317

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とします。

分析結果より、6カ月間で重複受診者は10,550人、頻回受診者は24,275人、重複服薬者は38,317人存在します。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少します。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	68,311 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	48,147 人
除外②	がん、難病等 ※	48,147 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		20,164 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含みます。

次に、残る対象者20,164人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先します。以下の通り効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cは6,462人となりました。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ.優先順位		
↑高 効果 ↓低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 2,857 人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 2,717 人
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者C 888 人
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者	候補者としない 13,702 人
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Cの患者数		6,462 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

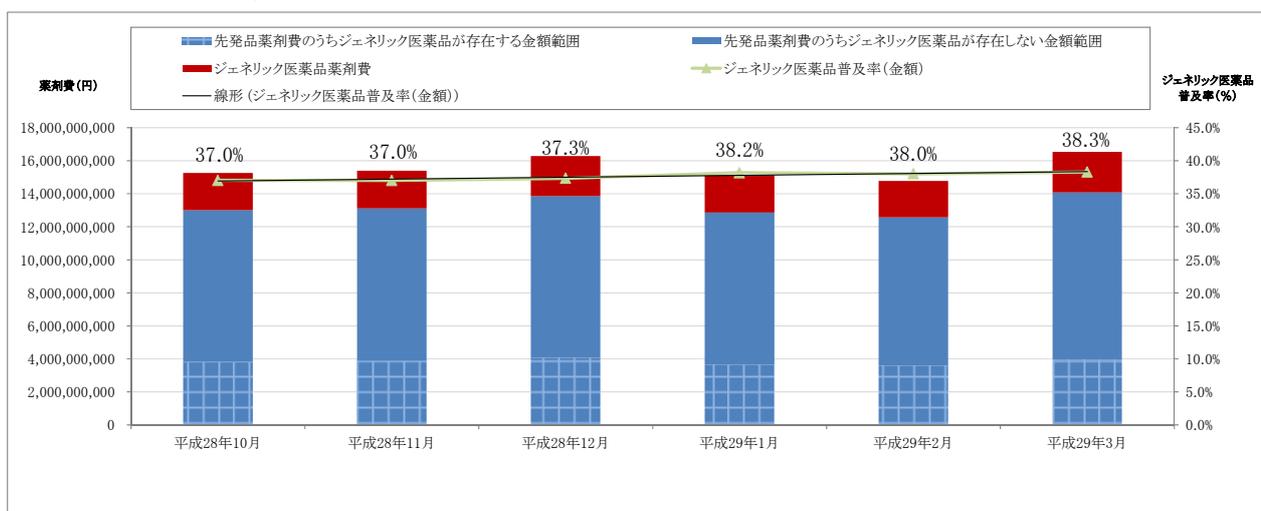
(5)ジェネリック医薬品普及率に係る分析

①ジェネリック医薬品普及率

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを被保険者に促し、薬剤費の削減することで、医療費の適正化を図ることができます。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの被保険者に対してアプローチできる利点があります。

以下に平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示します。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



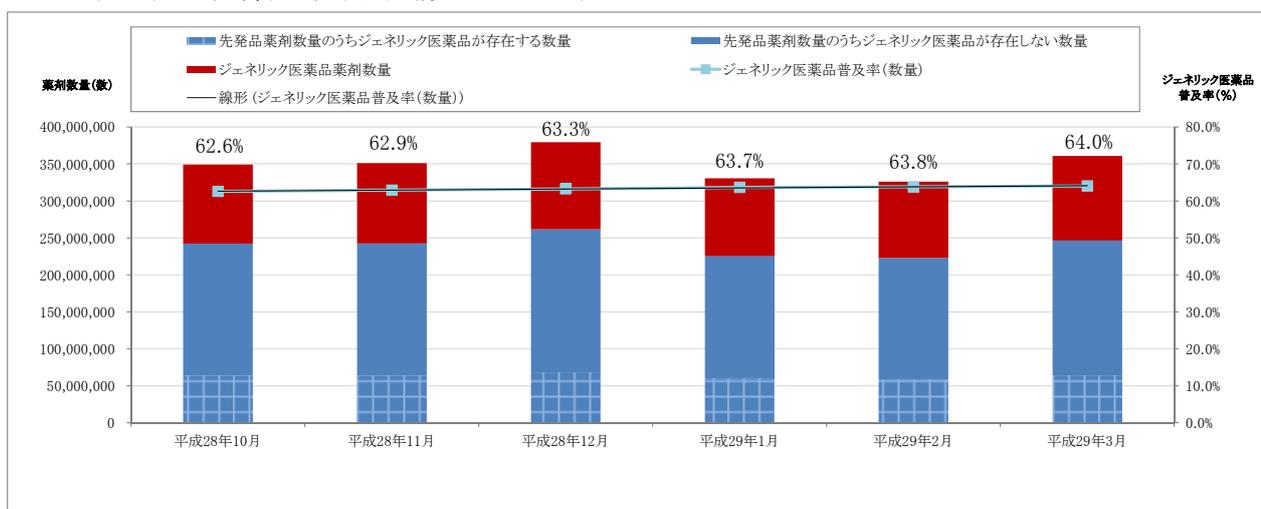
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

②市区町村別ジェネリック医薬品普及率

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース、数量ベース)を市区町村別に示します。

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
横浜市鶴見区	41.66%	41.85%	42.36%	42.40%	43.32%	43.17%
横浜市神奈川区	37.11%	37.97%	37.83%	39.01%	38.15%	39.47%
横浜市西区	37.26%	37.85%	37.31%	37.41%	38.13%	40.02%
横浜市中区	36.36%	36.14%	35.85%	37.59%	35.95%	37.13%
横浜市南区	36.65%	38.25%	38.10%	39.03%	38.75%	38.70%
横浜市保土ヶ谷区	37.85%	38.29%	39.03%	39.53%	39.25%	38.85%
横浜市磯子区	37.33%	37.38%	37.78%	37.70%	38.55%	38.65%
横浜市金沢区	38.26%	37.45%	38.23%	39.48%	39.38%	40.17%
横浜市港北区	35.24%	35.65%	35.82%	35.94%	36.25%	36.52%
横浜市戸塚区	44.78%	44.98%	45.42%	45.43%	46.76%	45.46%
横浜市港南区	35.51%	35.54%	35.12%	37.04%	36.42%	36.63%
横浜市旭区	37.87%	37.32%	37.46%	39.16%	38.14%	37.47%
横浜市緑区	39.86%	40.30%	40.40%	41.34%	42.04%	41.81%
横浜市瀬谷区	46.17%	44.23%	45.83%	47.03%	45.06%	46.35%
横浜市栄区	40.30%	40.87%	41.96%	41.57%	41.74%	43.47%
横浜市泉区	39.80%	40.45%	39.88%	41.14%	40.42%	40.95%
横浜市青葉区	34.48%	34.54%	34.82%	34.95%	34.86%	34.80%
横浜市都筑区	36.62%	38.09%	37.15%	37.97%	37.54%	38.46%
川崎市川崎区	41.27%	40.27%	41.07%	41.87%	41.69%	41.99%
川崎市幸区	40.48%	40.51%	40.08%	41.60%	40.97%	41.09%
川崎市中原区	35.49%	36.37%	35.41%	37.45%	36.76%	36.96%
川崎市高津区	36.45%	35.90%	36.44%	37.12%	36.94%	37.90%
川崎市多摩区	41.63%	41.17%	41.84%	41.11%	42.38%	39.73%
川崎市宮前区	41.40%	41.18%	40.96%	42.29%	42.10%	42.30%
川崎市麻生区	37.67%	37.95%	38.02%	38.62%	39.65%	38.76%
相模原市緑区	40.28%	40.30%	40.77%	41.80%	41.83%	41.41%
相模原市中央区	34.05%	33.59%	33.94%	35.65%	35.47%	36.35%
相模原市南区	34.41%	33.88%	34.56%	35.52%	35.65%	35.66%
横須賀市	35.72%	34.95%	35.87%	36.54%	35.94%	36.67%
平塚市	38.36%	38.43%	38.63%	39.95%	39.38%	39.65%
鎌倉市	37.49%	36.35%	36.52%	38.44%	37.27%	38.13%
藤沢市	36.96%	37.72%	37.44%	38.66%	38.26%	38.72%
小田原市	27.08%	27.80%	27.70%	28.47%	27.76%	28.79%
茅ヶ崎市	37.00%	37.56%	38.74%	38.62%	39.02%	39.54%
逗子市	36.70%	35.84%	35.55%	37.24%	36.86%	36.83%
三浦市	34.06%	33.23%	34.67%	34.21%	34.69%	34.62%
秦野市	32.13%	32.17%	32.23%	33.05%	33.02%	32.32%
厚木市	30.92%	30.55%	31.00%	31.97%	32.00%	31.68%
大和市	40.35%	39.35%	40.59%	40.51%	40.54%	41.01%

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
伊勢原市	25.56%	27.12%	27.13%	27.28%	28.96%	28.75%
海老名市	35.55%	35.58%	36.45%	37.03%	38.86%	39.74%
座間市	38.45%	38.96%	38.93%	41.04%	39.63%	39.98%
南足柄市	33.03%	32.34%	33.29%	32.58%	31.95%	33.47%
綾瀬市	40.06%	38.80%	39.69%	41.94%	41.79%	40.52%
葉山町	37.84%	38.22%	38.41%	39.78%	39.83%	38.24%
寒川町	35.12%	35.23%	36.99%	39.27%	35.77%	39.56%
大磯町	30.79%	29.57%	32.01%	32.86%	30.77%	33.42%
二宮町	31.75%	30.32%	32.10%	34.25%	31.75%	34.05%
中井町	39.49%	39.14%	37.65%	39.26%	42.56%	42.01%
大井町	37.92%	37.32%	39.79%	37.53%	41.43%	42.50%
松田町	36.40%	36.18%	37.25%	37.14%	39.46%	38.17%
山北町	39.23%	42.49%	41.40%	43.29%	41.96%	42.06%
開成町	35.37%	37.19%	36.57%	36.53%	37.26%	37.76%
箱根町	28.75%	27.85%	27.53%	27.19%	29.46%	29.32%
真鶴町	33.96%	34.08%	32.50%	34.70%	34.95%	35.32%
湯河原町	35.09%	35.08%	36.36%	35.19%	37.34%	36.42%
愛川町	39.35%	37.04%	38.89%	39.94%	36.30%	39.32%
清川村	19.21%	20.91%	23.40%	27.83%	22.55%	24.93%
広域連合全体	37.03%	37.01%	37.34%	38.18%	38.02%	38.29%

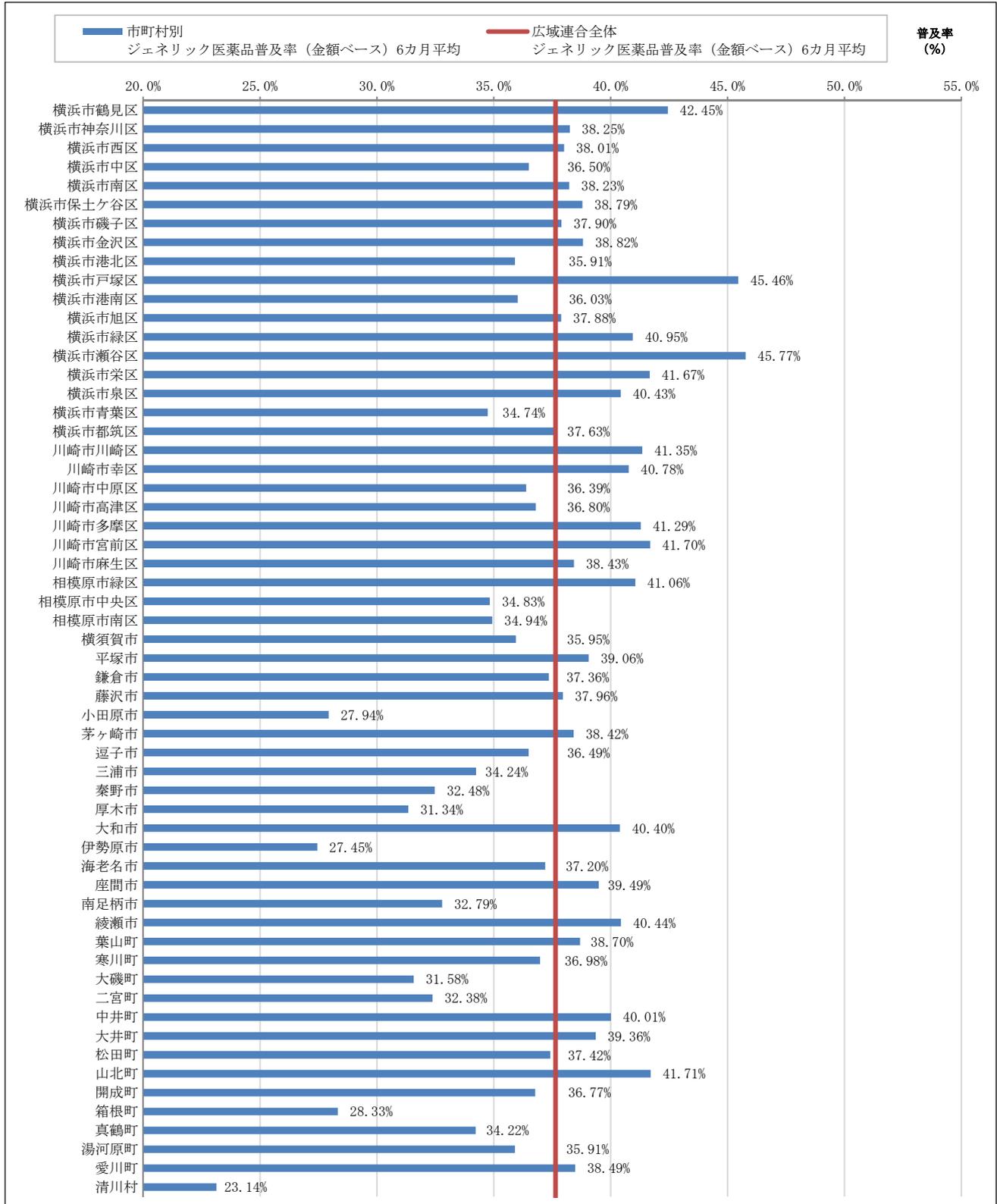
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース) 6カ月平均



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
横浜市鶴見区	67.78%	67.75%	68.00%	68.50%	68.48%	68.60%
横浜市神奈川区	63.03%	63.21%	63.39%	64.13%	63.90%	64.54%
横浜市西区	62.08%	62.76%	62.84%	63.32%	63.47%	64.07%
横浜市中区	59.86%	60.14%	60.34%	61.13%	61.27%	61.52%
横浜市南区	61.73%	62.38%	62.50%	63.14%	62.96%	62.96%
横浜市保土ヶ谷区	62.56%	63.39%	64.17%	64.16%	64.82%	64.81%
横浜市磯子区	62.30%	62.77%	63.14%	63.02%	63.50%	63.76%
横浜市金沢区	63.36%	63.41%	64.01%	64.39%	64.44%	65.00%
横浜市港北区	60.69%	61.25%	61.41%	61.47%	62.00%	61.99%
横浜市戸塚区	70.03%	70.28%	71.02%	70.74%	71.27%	71.06%
横浜市港南区	61.06%	61.36%	61.62%	61.99%	62.19%	62.40%
横浜市旭区	61.63%	61.81%	62.57%	62.80%	62.95%	63.18%
横浜市緑区	65.87%	66.50%	66.76%	67.21%	67.57%	67.30%
横浜市瀬谷区	69.87%	69.97%	70.65%	70.98%	70.57%	71.06%
横浜市栄区	66.16%	65.52%	66.85%	66.47%	66.53%	67.30%
横浜市泉区	65.26%	65.33%	65.89%	66.12%	66.09%	66.38%
横浜市青葉区	59.23%	59.97%	60.40%	60.70%	60.79%	61.01%
横浜市都筑区	62.73%	63.37%	63.42%	64.24%	64.28%	64.45%
川崎市川崎区	66.24%	66.18%	66.77%	66.93%	67.32%	67.85%
川崎市幸区	64.21%	64.47%	64.56%	64.95%	64.91%	65.41%
川崎市中原区	58.58%	59.67%	59.24%	60.44%	60.18%	60.75%
川崎市高津区	62.83%	62.83%	63.01%	63.41%	63.40%	63.57%
川崎市多摩区	64.52%	65.40%	65.24%	65.70%	66.13%	66.33%
川崎市宮前区	66.17%	66.61%	66.16%	66.98%	66.82%	67.28%
川崎市麻生区	61.49%	62.49%	62.40%	62.64%	63.75%	63.71%
相模原市緑区	67.15%	67.48%	68.28%	68.35%	68.18%	68.05%
相模原市中央区	61.43%	61.93%	62.25%	62.82%	63.19%	63.34%
相模原市南区	60.45%	60.72%	60.97%	61.66%	61.92%	62.12%
横須賀市	61.83%	61.92%	62.46%	62.62%	62.59%	63.18%
平塚市	63.98%	64.43%	64.68%	65.45%	65.42%	65.67%
鎌倉市	61.86%	61.98%	62.32%	63.24%	62.73%	63.33%
藤沢市	62.18%	62.79%	62.97%	63.68%	63.89%	63.89%
小田原市	54.33%	55.38%	55.05%	55.94%	56.27%	56.47%
茅ヶ崎市	62.93%	63.37%	63.98%	64.75%	64.76%	65.05%
逗子市	60.43%	60.09%	60.22%	61.56%	60.84%	60.93%
三浦市	59.86%	60.01%	60.89%	60.30%	60.89%	60.70%
秦野市	59.17%	59.32%	59.38%	59.79%	59.60%	59.78%
厚木市	55.93%	55.75%	56.40%	56.67%	57.27%	56.16%
大和市	65.28%	64.97%	65.93%	65.98%	65.92%	66.33%

市区町村名	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
伊勢原市	55.97%	56.90%	56.16%	57.24%	57.09%	57.22%
海老名市	61.41%	61.67%	62.16%	62.00%	63.39%	63.10%
座間市	63.34%	63.86%	63.86%	64.11%	64.53%	64.39%
南足柄市	61.10%	60.54%	61.31%	60.95%	62.38%	62.36%
綾瀬市	64.72%	64.75%	64.28%	65.81%	65.58%	66.80%
葉山町	64.64%	65.13%	64.42%	65.85%	65.39%	66.20%
寒川町	61.93%	63.07%	63.94%	63.91%	63.45%	65.17%
大磯町	59.27%	58.45%	60.77%	60.59%	59.37%	60.50%
二宮町	58.82%	58.67%	59.61%	59.99%	58.76%	60.44%
中井町	68.20%	69.56%	68.62%	70.20%	69.40%	69.61%
大井町	65.48%	66.27%	67.07%	66.83%	67.89%	68.40%
松田町	64.25%	64.17%	65.13%	64.51%	66.15%	67.87%
山北町	67.59%	68.27%	69.12%	69.86%	69.22%	70.73%
開成町	60.51%	61.82%	62.60%	63.19%	62.64%	61.89%
箱根町	57.56%	58.06%	57.96%	58.77%	60.57%	57.82%
真鶴町	61.76%	63.12%	60.95%	62.34%	63.29%	61.94%
湯河原町	62.95%	63.05%	64.94%	63.69%	64.74%	64.43%
愛川町	60.71%	59.21%	61.68%	61.01%	60.93%	61.83%
清川村	47.26%	47.63%	50.71%	46.68%	44.41%	46.88%
広域連合全体	62.57%	62.91%	63.27%	63.66%	63.81%	64.05%

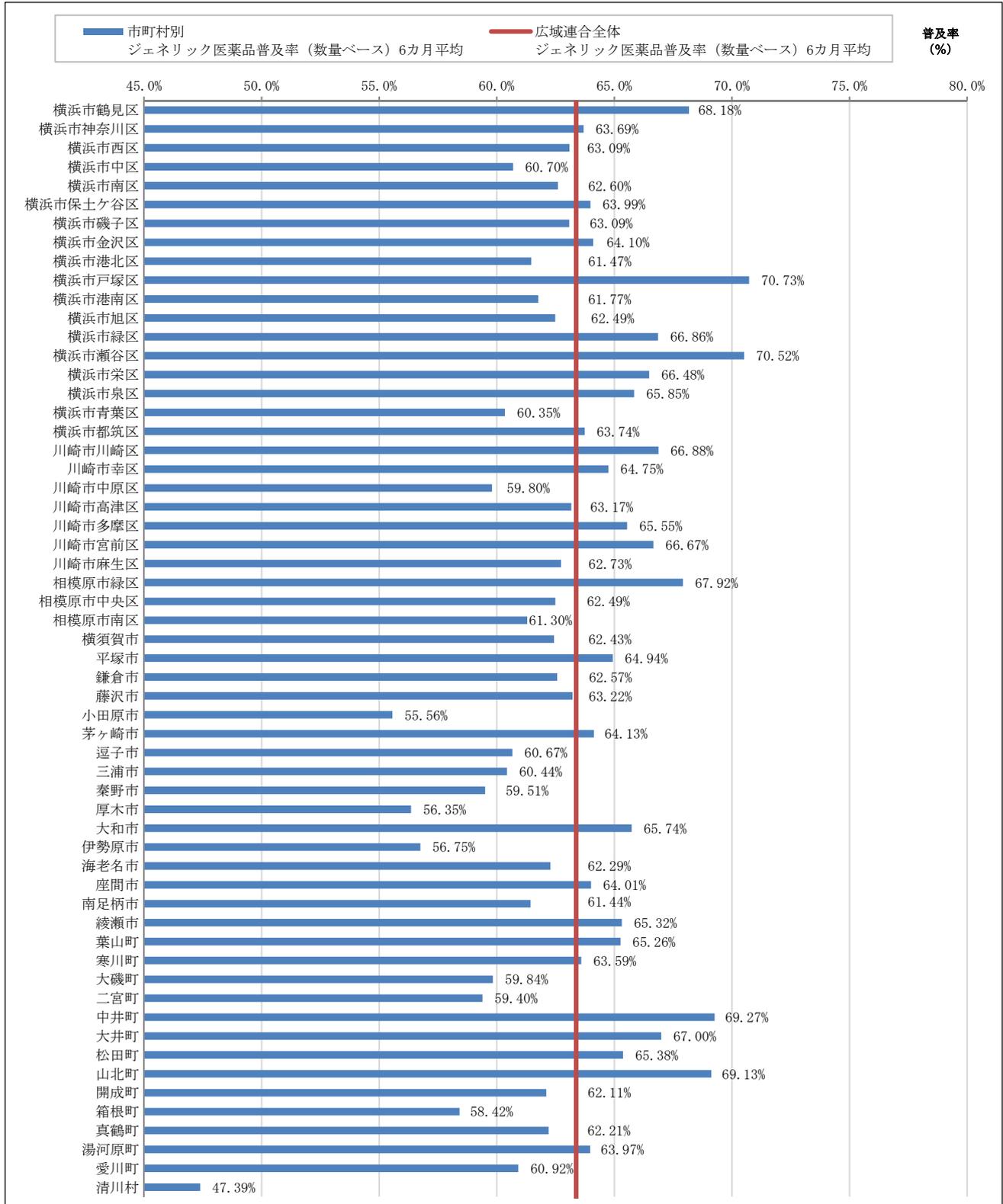
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

市区町村別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 6カ月平均



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としています。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

(6) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性があります。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認しますが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性があります。

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)で、薬剤併用禁忌が発生していた件数は延べ人数は32,225人、実人数は23,313人です。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	4,593	5,217	6,399	6,379	5,068	4,569
				6カ月間の延べ人数		32,225
				6カ月間の実人数		23,313

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とします。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示します。

実人数(人)	23,313
件数合計(件)	41,229

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	6,642
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	3,737
3	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	2,137
4	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	1,554
5	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1,407
6	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	1,043
7	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	991
8	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	922
9	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	771
10	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	739
11	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	667
12	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	657
13	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	604
14	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	519
15	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	498
16	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	474
17	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	433
18	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	428
19	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	372
20	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	358
21	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	328
22	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	324
23	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	296
24	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	294
25	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	227
26	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	226
27	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	215
28	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	205
29	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002038	コカール錠200mg	205
30	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	195
31	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	186
32	内服	620005824	セララ錠25mg	内服	620004902	アスバラカリウム錠300mg	182
33	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160501	PL配合顆粒	176
34	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	170
35	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	622081101	トラムセット配合錠	167
36	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	163
37	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60プリストア	161
38	内服	620004902	アスバラカリウム錠300mg	内服	620005825	セララ錠50mg	155
39	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	621558101	SG配合顆粒	154
40	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	153
41	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	149
42	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	内服	622374201	ベルソムラ錠15mg	148
43	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	144
44	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「JG」	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	141
45	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	622081101	トラムセット配合錠	138
46	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	127
47	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	116
48	内服	621498101	カブコデN配合錠	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	113
49	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	111
50	内服	620006951	スローケー錠600mg	内服	620005824	セララ錠25mg	105

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含みます)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

5. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)における分析結果を以下に示します。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	84,811,386,783円
2位	筋骨格系及び結合組織の疾患	42,864,504,150円
3位	新生物<腫瘍>	41,160,030,168円

患者数が多い疾病		患者数
1位	循環器系の疾患	774,281人
2位	消化器系の疾患	676,152人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	648,641人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物<腫瘍>	134,478円
2位	循環器系の疾患	109,536円
3位	損傷、中毒及びその他の外因の影響	107,644円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	その他の心疾患	25,695,964,071円
2位	高血圧性疾患	19,341,371,312円
3位	腎不全	18,753,598,295円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	642,267人
2位	その他の消化器系の疾患	535,953人
3位	糖尿病	408,637人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	445,329円
2位	腎不全	348,755円
3位	くも膜下出血	287,338円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	146,224件	高額レセプト発生患者の疾病傾向(中分類)	患者一人当たりの医療費	
高額レセプト件数割合	1.0%	1位	くも膜下出血	3,766,319円
高額レセプト医療費割合	34.8%	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,557,241円
		3位	その他の循環器系の疾患	3,482,114円

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	1,006人
------------	--------

【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	7,431人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	4,373人

【医療機関受診状況】

重複受診者	10,550人
頻回受診者	24,275人
重複服薬者	38,317人

※平成28年10月～平成29年3月診療分(6カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率(月平均)	63.4%
-------------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	23,313人
-----------	---------

(2)分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆健康診査受診率向上 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額です。健康診査の受診率向上を図り、被保険者に生活習慣を見直すきっかけを提供することで生活習慣病を予防し、また、疾病の早期発見・早期治療に繋ぐ必要があります。 また、健診データを活用し、より実効性が高い保健事業の実施を推進する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査事業（実施主体である市町村への補助金交付） ・歯科健康診査事業
<p>◆生活習慣病治療中断者 生活習慣病治療中断者について、医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ、重症化を予防することが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業の中で、糖尿病での受診中断者及び未受診者については、受診勧奨を実施 その他、生活習慣病については今後、検討が必要
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在します。糖尿病は進行すると腎症に至り人工透析が必要になります。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を防ぎ、または遅延させ、人工透析への移行を防止もしくは遅延を図る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業
<p>◆重複・頻回受診者、重複投薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在しており、それらの被保険者を正しい受診行動に導き、被保険者の健康保持増進及び医療費適正化の推進を図る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重複・頻回受診者重複投薬者訪問指導事業
<p>◆ジェネリック医薬品の普及 国が定める現在の目標値(数量ベースで80%以上)には達していないため、ジェネリック医薬品への切り替えに係る普及啓発を、より一層推進していく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品利用差額通知事業
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在します。正しいお薬手帳の活用法、適正な服薬管理の工夫の紹介等広報啓発等の取組みや、保健指導、医療関係機関との連携を図る取組みを検討する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、検討が必要

第3章 保健事業実施計画

1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示します。

	事業名	事業目的及び概要
1	健康診査事業	被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。
2	歯科健康診査事業	歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。
3	重複・頻回受診者、重複投薬者 訪問指導事業	レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診が確認される被保険者、また重複して同一薬を処方されている被保険者を特定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による指導を行うことにより、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。
4	糖尿病性腎症重症化 予防事業	健康診査及びレセプトデータを活用し、事業対象者を選定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように保健師等の専門職による保健指導を行い、病期進行の防止または遅らせることにより、対象者のQOL（Quality of life：生活の質）の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。
5	ジェネリック医薬品 利用差額通知事業	レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。
6	医療費通知事業	被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。
7	市町村保健事業支援 (検討中)	市町村で行っている保健事業を支援し、実効性のある保健事業の拡大を図る。 条件を検討し、一致する事業に対し補助金を交付する。
8	薬剤併用禁忌 (検討中)	併用禁忌薬剤による健康被害の防止を図る。

今後の取組、検討事項 平成30年度～平成35年度	目標値	
	アウトプット	アウトカム
フレイル対策や重症化予防等につながるもの等、後期高齢者に適した健診項目への補助について、追加や見直しを検討する。また、受診率向上を目的とした観点からも補助の仕組みについて、見直しを検討する。	・健康診査受診率	・健康診査受診率
口腔機能維持の重要性についての周知拡大、歯科健康診査を受診できる医療機関の増加による被保険者の利便性向上により受診率の向上を図る。また、歯科健康診査により口腔疾病の発見が見込まれる被保険者等、事業対象者の拡大を検討する。	・歯科健康診査受診者数	・要治療者の内、治療に結び付けることができた歯科健康診査受診者の割合
本事業については、対象者に訪問指導を実施することや、2回の訪問指導を完了することが困難な状況であるため、対象者の選定方法及びアプローチ方法等の見直しを行い、事業の実効性の向上を図る。	・訪問指導実施者数 ・訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	・訪問指導実施者の内、受診行動が改善された者の割合
より実効性のある事業実施対象者の抽出に向けて、基準の確立を図る。 事業実施地域の拡大を図るため、事業実施手法等について検討する。 また、高血圧症等の糖尿病以外を起因とする腎症患者への取組みについても検討する。	・訪問指導実施者数 ・訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	・受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合 ・訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合
自己負担に係ることのみの通知では、ジェネリック医薬品への切り替えに結び付かないケースもあるため、安全性及び先発医薬品との同等性に係る普及啓発の推進及び後期高齢者医療制度の安定化、ひいては社会制度全体の安定性及び継続性に資すること等についても周知を図ることが必要となる。 また、数量シェアの低い地域への取組みについて検討する。	・通知事業の実施	・通知対象者の内、ジェネリック医薬品へ切り替えた者の数
引き続き、県内全市町村において本事業を実施する。 また、医療費通知を確定申告（医療費控除）の手続きに使用できるよう、記載項目等の改定を図る。	・実施市町村数	・実施市町村数
市町村独自で行っている保健事業を確認し、補助対象を検討する。 市町村に対し保健事業実施の働きかけをする。	検討中	検討中
多剤服薬等を起因とする薬剤併用禁忌の回避に向けた取組み及び手法について検討する。	検討中	検討中

2. 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りです。

(1) 健康診査事業

【事業目的及び概要】

被保険者の生活習慣病等の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、市町村が主体となって実施する健康診査事業費用の一部を助成する。

【対象者】

神奈川県内に住所を有する後期高齢者医療制度の被保険者

入院患者、介護施設入所者、既に生活習慣病で治療を受けている者等で、実施方法等にある項目と同等の検査を受けている者については、必ずしも健康診査を実施する必要はない。(各市町村の実施方針による)

【今後の取組、検討事項】

フレイル対策や重症化予防等につながるもの等、後期高齢者に適した健診項目への補助について、追加や見直しを検討する。また、受診率向上を目的とした観点からも補助の仕組みについて、見直しを検討する。

【目標値】

アウトプット・アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
健康診査受診率	25.5%	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント	前年度実績 +0.5ポイント

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(2) 歯科健康診査事業

【事業目的及び概要】

歯・歯肉の状態や口腔衛生状態等をチェックすることで、口腔機能の低下や肺炎等の疾病を予防し、被保険者の健康の保持増進を目的とし、県歯科医師会への委託により歯科健康診査を実施する。

【対象者】

前年度75歳到達者

【今後の取組、検討事項】

口腔機能維持の重要性についての周知拡大、歯科健康診査を受診できる医療機関の増加による被保険者の利便性向上により受診率の向上を図る。また、歯科健康診査により口腔疾病の発見が見込まれる被保険者等、事業対象者の拡大を検討する。

【目標値】

アウトプット評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
歯科健康診査受診者数	4,500人	前年度実績 +5.0%	前年度実績 +5.0%	前年度実績 +5.0%	前年度実績 +5.0%	前年度実績 +5.0%

アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
要治療者の内、治療に結び付けることができた歯科健康診査受診者の割合	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(3) 重複・頻回受診者、重複投薬者訪問指導事業

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、医療機関への重複や頻回受診等が確認される被保険者、また重複して同一薬を処方されている被保険者を次の基準により選定し、適正な医療機関へのかかり方等について、保健師等の専門職による訪問指導（原則2回）を行い、被保険者の健康保持及び医療費の適正化を図る。

【対象者】

- ・ 重複受診者 3か月連続して1か月に同一疾病で医療機関を3か所以上受診している者
- ・ 頻回受診者 3か月連続して1か月に同一医療機関を15回以上受診している者
- ・ 重複投薬者 3か月連続して同一薬剤又は同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関から処方されている者

【今後の取組、検討事項】

本事業については、対象者に訪問指導を実施することや、2回の訪問指導を完了することが困難な状況であるため、対象者の選定方法及びアプローチ方法等の見直しを行い、事業の実効性の向上を図る。

【目標値】

アウトプット評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
訪問指導実施者数	60人	70人	80人	90人	100人	100人
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	70.0%	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%

アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
訪問指導実施者の内、受診行動が改善された者の割合	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

【評価方法】

事業実施翌年度のレセプトデータ等により、目標値の達成状況確認

※アウトカム評価については、訪問指導実施者（指導未完了者を含む）の内、本事業対象者ではなくなった者を受診行動が改善された者とする。

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業

【事業目的及び概要】

レセプト及び健康診査データを活用し、事業実施対象者を選定。糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い医療機関未受診者や受診中断者に対しては通知送付による受診勧奨を行い、適切な医療に結びつけるとともに、重症化するリスクの高い通院中の被保険者に対しては、保健師等の専門職が訪問及び電話連絡による保健指導を行うことで、腎不全、人工透析への移行を防止または遅らせ、QOL（Quality of life：生活の質）の向上を図り、医療費の適正化に繋げる。（本事業は、平成29年度より実施。）

【対象者】

健診データ及びレセプトデータを活用して抽出された、医療機関未受診者・受診中断者、通院している被保険者のうち、保健師等の専門職による介入によって重症化するリスクが低下する可能性のある被保険者。

ただし、1型糖尿病の者、既に人工透析を行っている者、その他、がん、難病等、発症に複雑な起因があり、受診勧奨や保健指導が困難と判断される者は除外する。

【今後の取組、検討事項】

より実効性のある事業実施対象者の抽出に向けて、基準の確立を図る。

事業実施地域の拡大を図るため、事業実施手法等について検討する。

また、高血圧症等の糖尿病以外を起因とする腎症患者への取組みについても検討する。

【目標値】

アウトプット評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
訪問指導実施者数	15人	20人	25人	30人	35人	40人
訪問指導実施者の内、指導完了に至った者の割合	35.0%	35.0%	40.0%	40.0%	45.0%	50.0%

アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
受診勧奨実施者の内、医療機関の受診に繋がった者の割合	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
訪問指導実施者の内、検査値が改善された者の割合	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%

【評価方法】

事業実施翌年度のレセプト及び健診データ等により、目標値の達成状況を確認

(5) ジェネリック医薬品利用差額通知事業

【事業目的及び概要】

レセプトデータを活用し、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費が一定額以上軽減する被保険者を特定し、通知を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促し、医療費の適正化を図る。

【対象者】

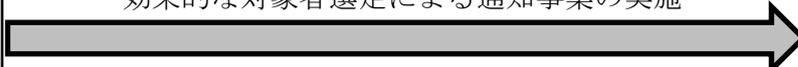
ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品に切り替えることにより薬剤費軽減額が一定以上の被保険者

【今後の取組、検討事項】

自己負担感の希薄な被保険者もいるため、自身の費用負担に係ることのみの通知では、ジェネリック医薬品への切り替えに結び付かないケースもあるため、安全性及び先発医薬品との同等性に係る普及啓発の推進及び後期高齢者医療制度の安定化、ひいては社会制度全体の安定性及び継続性に資すること等についても周知を図り、より一層の医療費適正化の推進が必要となる。

また、数量シェアの低い地域への取組みについて検討する。

【目標値】

アウトプット評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
通知事業の実施	40,000通	効果的な対象者選定による通知事業の実施 				

アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
通知対象者の内、ジェネリック医薬品へ切り替えた者の数	4,000人	前年度実績 +10.0%	前年度実績 +10.0%	前年度実績 +10.0%	前年度実績 +10.0%	前年度実績 +10.0%

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

(6) 医療費通知事業

【事業目的及び概要】

被保険者の健康に対する意識の向上、ひいては、後期高齢者医療制度の健全な運営に資することを目的とし、レセプトデータを活用し、年2回医療費通知を送付する。(年2回の送付のほか、被保険者から希望があった場合は、随時通知を送付。)

【対象者】

神奈川県広域連合の被保険者

【今後の取組、検討事項】

引き続き、県内全市町村において本事業を実施する。

また、確定申告（医療費控除）の手続きが改正され、平成29年分から一定の記載項目要件を満たした医療費通知が使用できることとなったため、同手続きに使用できるよう、記載項目の改定を図り、それに則して送付時期も変更する。

通知の送付後、被保険者からの問い合わせが多くあるため、対応できるよう更なる体制整備を図る。

【目標値】

アウトプット・アウトカム評価	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
実施市町村数	33	33	33	33	33	33

【評価方法】

目標値の達成状況を確認

3. 保健事業の実施に当たっての留意事項

保健事業は、高齢者の健康の特性に注意しながら、①被保険者一人ひとりの状況に即して健康保持増進を支援すること、②特に、生活習慣病等の重症化予防、運動・認知機能の低下防止、低栄養の回避等に向けた生活習慣見直しに重点を置くこと、③日常生活が制約される場合には、福祉・介護等の支援につなげること、④神奈川県及び市町村と協力・連携して実施すること、⑤健康・医療情報を活用し、P D C Aサイクルに沿って事業を運営することを基本的な考え方として実施していきます。

高齢者の健康の特性

- ・ 加齢に伴い心身が衰え、運動機能や認知機能が低下する。
- ・ 複数の慢性疾患を有し、完治を見込みにくい場合が多い。
- ・ 若年期に比べ生活習慣改善の効果による予防効果は必ずしも大きくない。
- ・ 健康状態、心身機能、生活状況等の個人差が大きい。
- ・ 健康面の不安が生活上の課題となりやすい。

出典：厚生労働省 第84回社会保障審議会医療保険部会資料

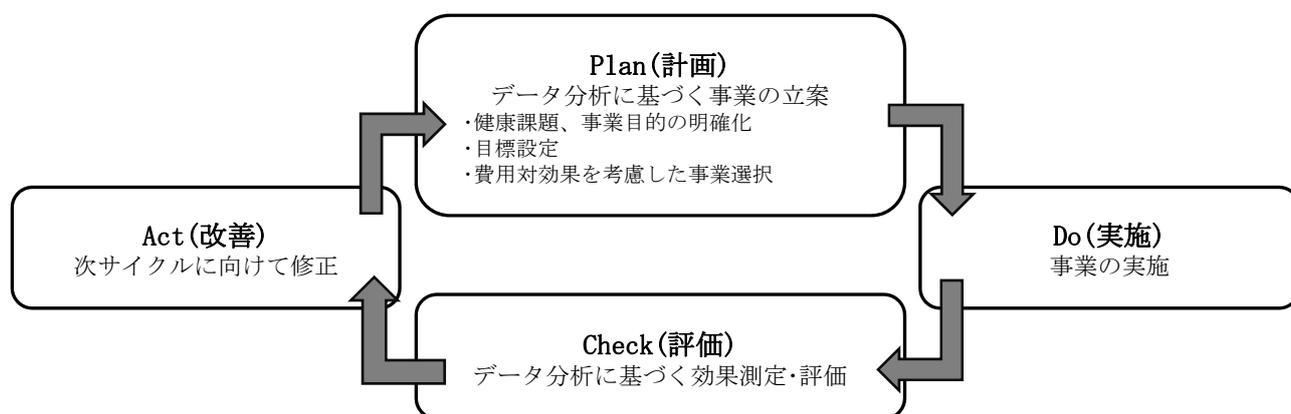
第4章 その他

1. データヘルス計画の運用

(1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、設定した評価指標に基づき、毎年度評価及び進捗確認を行い、必要に応じて事業の実施内容、方法等の見直しを行います。また、計画期間の途中で事業実績に基づく中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。

次期計画の策定を円滑に行うため、本計画の最終年度においては、その上半期に仮評価を行います。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

(2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

2. 計画の公表・周知

本計画は、本広域連合のホームページに掲載し、被保険者への周知に努めます。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めます。

3. 個人情報の取り扱い

本計画の実施に当たり、本広域連合における個人情報の取り扱いについては、神奈川県後期高齢者医療広域連合個人情報保護条例(平成19年3月条例第16号)に基づき、適正に管理します。

4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

要介護認定率等の地域差、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携した事業への取り組みに努めます。

疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
1. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
2. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
5. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
6. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
7. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
8. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
9. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
10. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
1 1. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
1 2. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
1 3. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
1 4. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
15. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
16. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
17. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
18. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
19. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ベースメーカ植え込み後	人工股関節置換術後
22. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		